PUB. DIJ-186

Canon

DIGITAL VIDEO CAMERA

FV500

使用説明書

はじめに

基本編

応用編

編集する

その他



Mini DV Digital Video Cassette

もくじ

はじめに

基本編（自動で撮る／テレビで見る）

応用編（効果的に使う）

編集する

その他（ご注意など）

本書の使いかた

このたびは、キヤノンFV500をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、大切に保管してください。

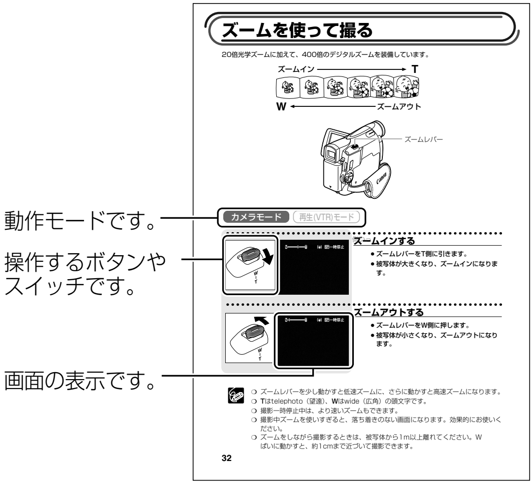
本書の記載について

：操作するうえで、守っていただきたいことです。

：基本操作に加えて、知っておいていただきたいことです。

（📖 ○○）：（　）内の数字は参照ページです。

：表示の点滅を示しています。



・文中の「画面」は、液晶画面またはファインダーの画面を表しています。
・作例写真は、スチルカメラで撮影したものを使用しています。

動作モードについて

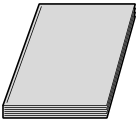
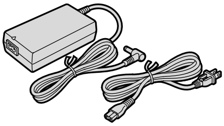
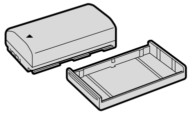
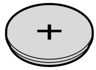
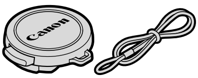
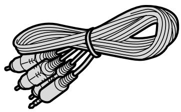
・動作モードは、電源スイッチの位置で切り換えます。

動作モード	電源スイッチ	参照ページ
カメラモード	カメラ	28
再生(VTR)モード	再生（VTR）	35

・動作モードによっては、使用できない機能があります。本書では、次のように表示しています。
カメラモード ：使用できます。　カメラモード ：使用できません。

付属品をお確かめください

本機をお使いになる前に、付属品をお確かめください。

FV500 使用説明書 	コンパクトパワー アダプター CA-570 電源コード 	バッテリーパック NB-2LH 	コイン型リチウム電池 CR1616 
レンズキャップ/ レンズキャップ用ひも 	ステレオビデオ ケーブル STV-250N 		

必ずお読みください

ためし撮り
必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

記録内容の補償はできません。
万一、ビデオカメラやテープなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について
あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

長時間録画モードについて
長時間録画（LP）モードは、標準（SP）モードの1.5倍の録画ができる機能です。長時間録画モードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。大切な撮影にはSPモードをお使いください。

液晶画面やファインダーについて
液晶画面やファインダーは、非常に精密度の高い技術で作られています。99.99%以上の有効画素がありますが、黒い点があらわれたり、赤や青、緑の点が常時点灯することがあります。これは、故障ではありません。なお、これらの点は、記録されません。

- “Mini DV”ロゴは商標です。
- Macintosh, Mac OSは、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- Windows®は、米国Microsoft社の米国および他の国における登録商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

安全上のご注意

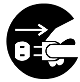
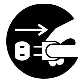
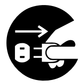
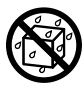
ご使用の前に必ず「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について：

この使用説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告　火災　感電　破裂	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。
煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックをはずしてください。 そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。 煙が出なくなるのを確認してから、ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターに修理を依頼してください。 お客様による修理は危険ですからおやめください。	 プラグをコンセントから抜く
本機器を落としたり、外装を破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックをはずしてください。 ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターに修理を依頼してください。 そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。	 プラグをコンセントから抜く
本機器内部に水、飲料水、海水などの液体が入ったり、濡らしたりしないようにご注意ください。または異物が入った場合は、すぐに、電源プラグをコンセントから抜くか、バッテリーパックをはずしてください。 そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターにご連絡ください。 特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。	 プラグをコンセントから抜く
風呂場、シャワー室など湿度の高い所に置いたり、使用したりしないでください。 水などが入ると、火災、感電、やけどの原因となります。	 風呂場、シャワー室での使用禁止
バッテリーパック内部に水、飲料水、海水などの液体が入ったり、濡らしたりしないようにご注意ください。 そのまま使用した場合、火災、感電、やけどの原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺、湿度の高い場所などでの使用は、特にご注意ください。	 水濡れ禁止
雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れないでください。 感電の原因となります。	 接触禁止

⚠警告　火災　感電　破裂	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。
本機器を海外旅行者用の電子式変圧器や航空機、船舶、DC／ACコンバーターなどの電源に接続しないでください。また、表示された電源電圧や周波数以外では使用しないでください。 火災、感電、けがの原因となります。	禁止
海外で使用する場合は、その国の電圧、コンセントの形状をお調べください。 火災、感電の原因となります。	強制
海外で、変換プラグアダプターをご使用の場合、電源プラグの刃を、根元まで入れてください。 根元まで入れない場合、感電の原因となります。	強制
電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントに溜まったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。 ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺に溜まったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。	強制
電源コードを傷つけないでください。 **・加工したり、傷つけたりしないでください。** **・無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。** **・熱器具に近づけたり、加熱したりしないでください。** 電源コードが傷ついたり（芯線の露出、断線等）して、火災、感電の原因となります。コードが傷ついた場合、ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。	禁止
本機器の外装をはずさないでください。 内部に高電圧の部分がありますので、感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、ご購入になった販売店またはキヤノンサービスセンターにご依頼ください。	分解禁止
本機器を分解、改造しないでください。 発熱、火災、感電、けがの原因となります。	分解禁止
強い衝撃や振動を与えたり、投げつけないでください。 破損により、火災、やけど、けがの原因となります。特に、液晶画面は、ガラス製のため、画面に強い衝撃を与えると、割れてけがの原因となります。	禁止

⚠警告 火災 感電 破裂	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。
指定された充電器を使用してください。 DCプラグの形状が同じでも、電圧や極性が異なる場合があるので、それ以外のものを使用すると、発熱や、変形して、火災、感電の原因となります。	強制
バッテリーパックは、指定された機器にご使用ください。 それ以外のものに使用すると、バッテリーパックの液漏れ、発熱、破裂の原因となります。	強制
バッテリーパックを、金属製のネックレス、キーホルダー、ヘアピンなどと一緒に、携帯や保管をしないでください。 バッテリーパックなどの「＋」と「－」の端子がショートされ、高熱や液漏れにより、やけど、けがの原因となります。 持ち運びや保存のときは、必ず付属のショート防止用端子カバーを取り付けてください。	禁止
本機器の内部や端子部に金属類を入れたり、ショートさせないでください。 火災、感電、けがの原因となります。	禁止
バッテリーパック、コイン型リチウム電池などを、電子レンジ、オーブンなどで加熱したり、火の中へ投げ入れたりしないでください。 バッテリーパックの破裂により、やけど、けがの原因となります。	禁止
バッテリーパックから液漏れした時、皮膚や衣服につけたり、目に入れたり、火気に近づけたりしないでください。 皮膚の障害、失明、発火の原因となります。	禁止
バッテリーパックを電源コンセントや自動車のシガーライターソケットなどに直接接続しないでください。 バッテリーパックの液漏れ、発熱、破裂により火災、やけど、けがの原因となります。	禁止
コイン型リチウム電池をお子様の手の届かないところへ置いてください。 万一、飲み込んだ場合、電池の金属ケースが壊れて、電池の液で胃、腸が損傷する恐れがありますので、ただちに医師と相談してください。	強制
お子様が使用のときには、保護者が正しい使用方法を充分に教えてください。また、使用中にもご注意ください。 感電、けがの原因となります。	強制

警告　火災　感電　破裂	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などによって、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。必ずお守りください。
乳幼児の手の届かないところで、使用、保管してください。 感電、けがの原因となります。	強制
自動車などの運転中に、運転者は本機器を操作しないでください。 交通事故の原因となります。	禁止
撮影しているときは、周囲の状況にご注意ください。 けがや交通事故の原因となります。	強制
本機器をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。 落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。	禁止
ビデオカセットの挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。 そのまま使用した場合、火災、感電の原因となります。	禁止
本機器を、ストーブなどの熱器具に近づけないでください。 外装が変形したり、コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因となることがあります。	禁止
直射日光下や発熱体のそばなど、60℃以上の高温の場所で使用や放置しないでください。 バッテリーパックの液漏れ、発熱、破裂により、火災、やけど、けがの原因となることがあります。	禁止
コンパクトパワーアダプター、バッテリーパック、ビデオカメラなどを使用中に、温度の高くなる部分に長時間触れないでください。 長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。	強制

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。

テーブルクロス、じゅうたん、ふとん、クッションなどをかけたまま使用しないでください。 内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。	禁止
指定されたバッテリーパックを使用してください。 それ以外のものを使用すると、バッテリーパックの破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚す原因となることがあります。	強制
濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となることがあります。	ぬれ手禁止
電源プラグをコンセントから抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。 電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。	強制
使用しないときは、安全のために、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。	プラグをコンセントから抜く
テレビは前面が重いので、アンテナコードやＡＶコードなどを接続するとき、転倒防止の処置をとってください。 テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。	強制
コード類は正しく配置してください。 電源コード、DCケーブル、AVケーブルなどに足を引っ掛けたりして、転倒したり、ものが落ちたりして、けがの原因となることがあります。	強制
バッテリーパック、ショルダーストラップ（別売）、グリップベルトなどを確実に取り付けてください。 緩んで脱落すると、けがの原因となることがあります。	強制
湿気、油煙、ほこりなどの多い場所に保管しないでください。 火災、感電の原因となることがあります。	禁止

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容です。必ずお守りください。

お子様がビデオカセットの挿入口から、手を入れないようにご注意ください。
けがの原因となることがあります。

指をはさまれないよう注意

飛行機内で使用する場合は、乗務員の指示に従ってください。
機器から出る電磁波により、飛行機の計器に影響を与える恐れがあります。

強制

コイン型リチウム電池を金属のピンセットなどでつかまないでください。
発熱により、やけどの原因となることがあります。

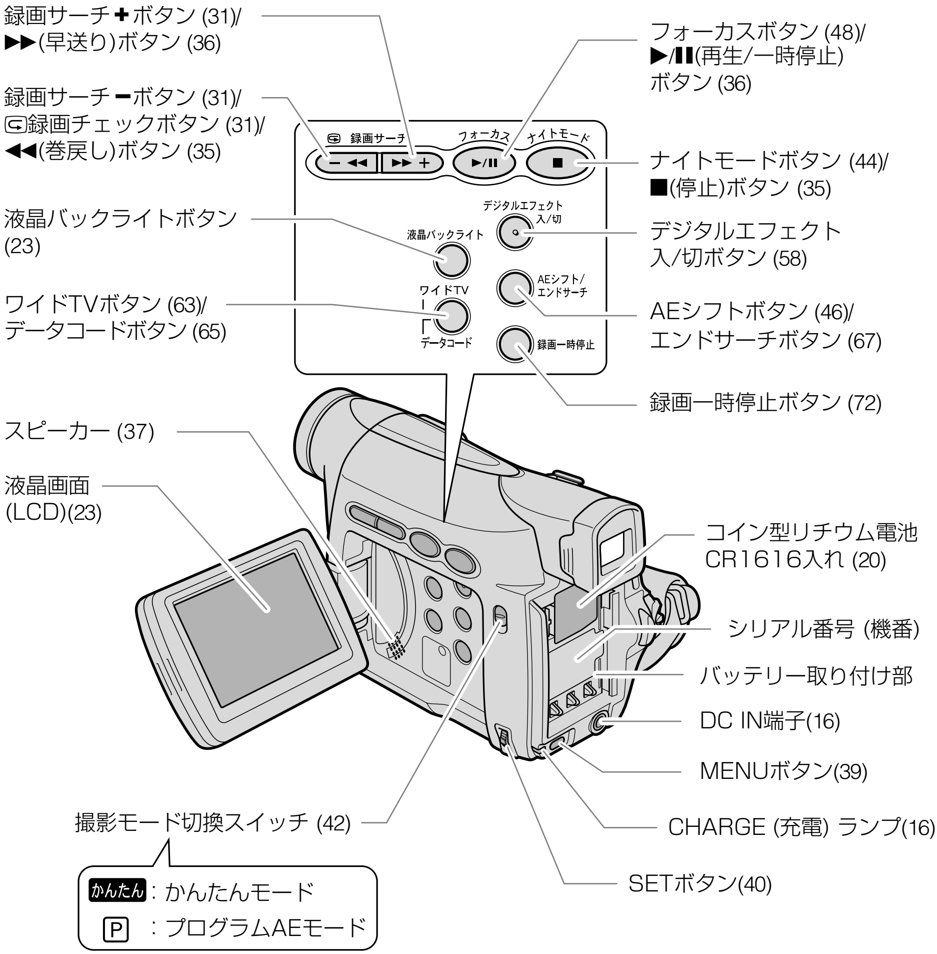
強制

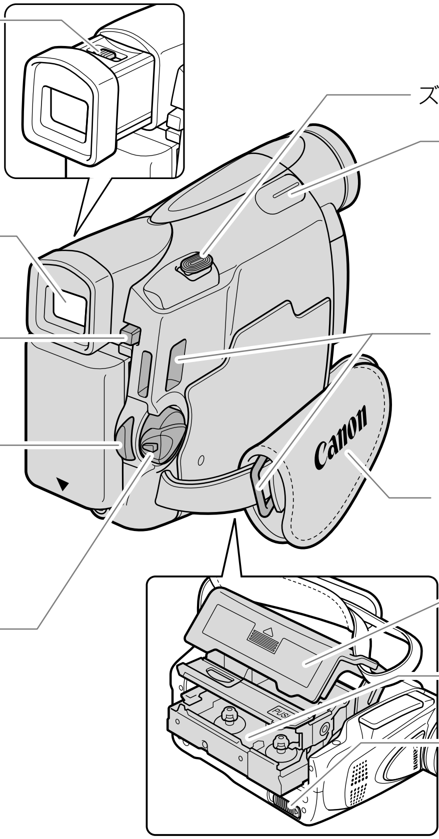
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

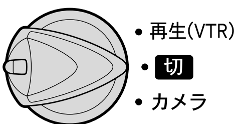
各部の名称

(　)内の数字は参照ページです。

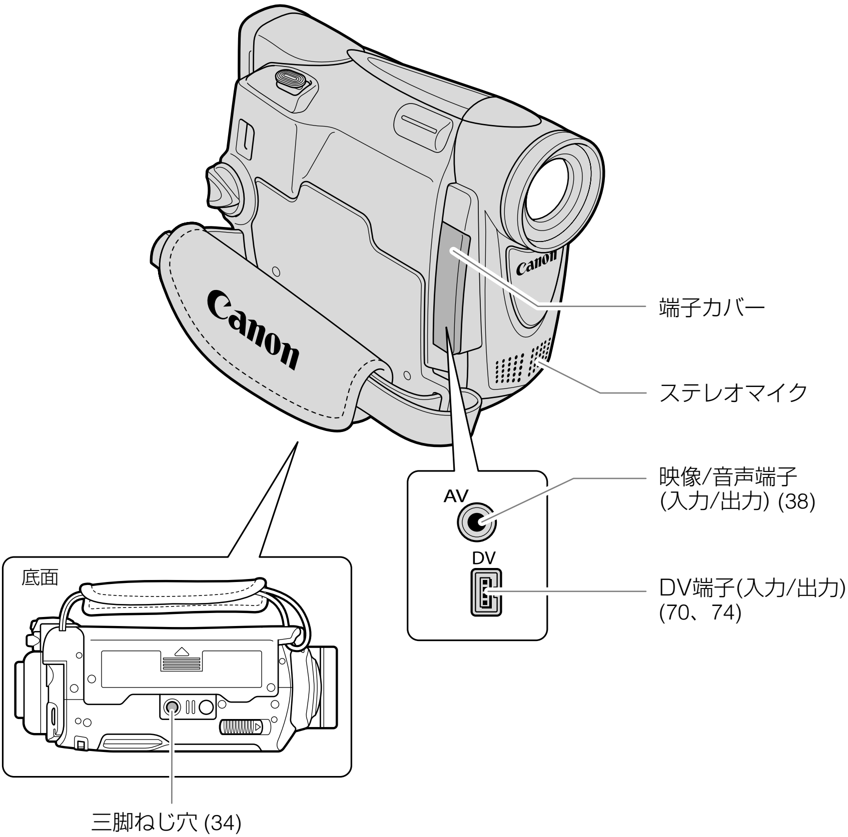
本体







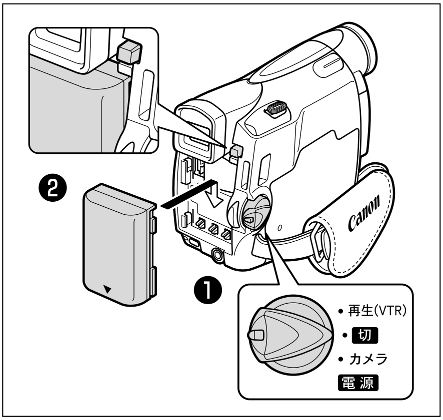
再生(VTR)	:再生する	
切	:電源を切る	
カメラ	:撮影する	


端子カバー
ステレオマイク
AV
DV
映像/音声端子
(入力/出力) (38)
DV端子(入力/出力)
(70、74)
底面
三脚ねじ穴 (34)

電源を準備する

バッテリーパックは、充電してから使います。

バッテリーパックを取り付ける

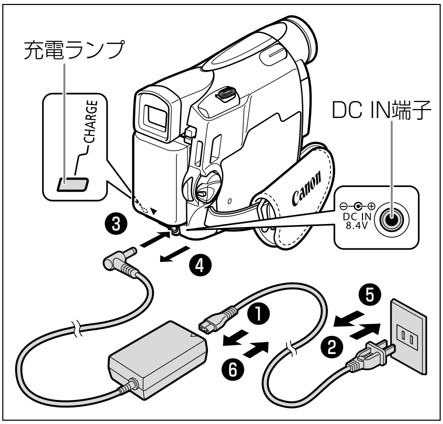


❶ 電源スイッチを「切」にする

❷ バッテリーパックを押し付けながら、カチッとロックされるまで下にずらす

バッテリーパックを使うときは、ショート防止用端子カバーを取りはずします（🕮 90）。

バッテリーパックを充電する



❶ コンパクトパワーアダプターに電源コードを差し込む

❷ 電源プラグをコンセントに差し込む

❸ DC IN端子にコンパクトパワーアダプターを差し込む

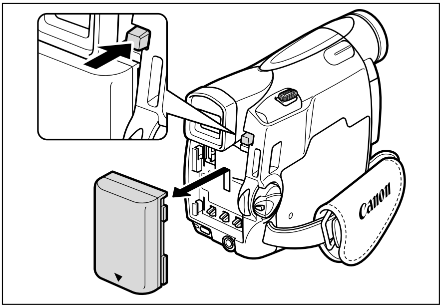
充電ランプが点滅し、充電が始まります。
充電が終わると、充電ランプが点灯します。

❹ コンパクトパワーアダプターを本機から抜く

❺ 電源プラグをコンセントから抜く

❻ 電源コードをコンパクトパワーアダプターから抜く

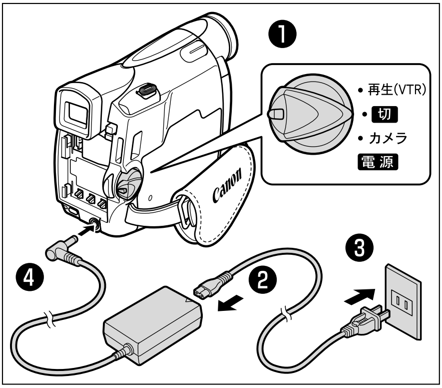
バッテリーパックを取りはずす



BATT.ボタンを押しながら、バッテリーパックを上にずらす

家庭用コンセントにつないで使う

本機を家庭用コンセントにつなぐと、バッテリーパックの残量を気にせずに使用できます。また、バッテリーパックを取り付けたまま使用しても、バッテリーパックは消耗しません。



❶ 電源スイッチを「切」にする

❷ コンパクトパワーアダプターに電源コードを差し込む

❸ 電源プラグをコンセントに差し込む

❹ DC IN端子にコンパクトパワーアダプターを差し込む

❍ コンパクトパワーアダプターを抜き差しするときは、必ずビデオカメラの電源を切ってください。
❍ テレビの近くでコンパクトパワーアダプターを使用すると、テレビ放送の画面にノイズが出ることがあります。コンパクトパワーアダプターをテレビやアンテナケーブルから離してください。
❍ DC IN端子には、指定された製品以外を絶対に接続しないでください。また、コンパクトパワーアダプターを指定された製品以外に接続しないでください。
❍ コンパクトパワーアダプターを使用中、音がすることがありますが、故障ではありません。
❍ バッテリーパックの充電中は、コンパクトパワーアダプターの電源コードを、コンセントから抜き差ししないでください。充電が停止したり、充電ランプが点灯してもバッテリーパックが正しく充電されていないことがあります。このような場合は、バッテリーパックを一度取りはずしてから、取り付けてください。また、充電中に停電が起きた場合も、同様の手順で充電し直してください。

次のページへ

❍ コンパクトパワーアダプター、バッテリーパックに異常があるときは、充電ランプが早い連続した点滅（0.5秒間隔で1回）になり、充電を中止します。

❍ ランプの点滅／点灯が充電した目安の量（残量）を示します。
0～50% ：約1秒間隔で1回ずつ点滅
50%以上：約1秒間隔で2回ずつ点滅
100% ：点灯

❍ バッテリーパックの充電時間とフル充電したバッテリーパックの使用時間は、次のとおりです。

バッテリーパック		NB-2LH	NB-2L（別売）	BP-2L12（別売）	BP-2L14（別売）
本機での充電時間		約130分	約115分	約205分	約235分
連続撮影時間					
ファインダー使用時		約135分	約115分	約245分	約300分
液晶画面使用時	標準	約95分	約80分	約170分	約210分
	明るい	約85分	約70分	約145分	約185分
実撮影時間*					
ファインダー使用時		約75分	約60分	約130分	約160分
液晶画面使用時	標準	約55分	約45分	約95分	約120分
	明るい	約50分	約40分	約85分	約105分
再生時間		約100分	約85分	約175分	約220分

* 実撮影時間は、撮影、撮影一時停止、電源の入/切、ズームなどの操作をくり返したときの撮影時間の目安です。実際には、これよりも短くなることがあります。

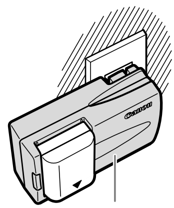
❍ 10℃～30℃の範囲で充電することをおすすめします。0℃未満、40℃以上では、充電ランプが早い連続した点滅になり、充電を中止します。

❍ 充電時間は周囲の温度や充電状態によって異なります。

❍ 低温下で使用したときには、使用時間は短くなります。

❍ 別売のバッテリーチャージャーCB-2LTを使って充電できます。詳しくは、バッテリーチャージャーの使用説明書をご覧ください。
バッテリーチャージャーを使用したときのバッテリーパックの充電時間は、次のとおりです。

バッテリーパック	充電時間
NB-2LH	約90分
NB-2L（別売）	約80分
BP-2L12（別売）	約150分
BP-2L14（別売）	約170分

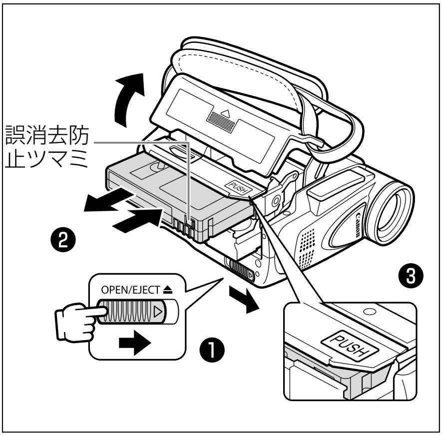


CB-2LT

❍ **バッテリーパックは、予定撮影時間の2～3倍分をご用意ください。**
ビデオカメラの消費電力は、ズームなどの操作によって変化します。そのためバッテリーパックの実際の使用時間は、表記の時間より短くなります。撮影時には、予定撮影時間の2～3倍のバッテリーパックを用意することをおすすめします。

カセットを入れる／出す

ビデオカセットは、MiniDVマークの付いたものをお使いください。



❶ OPEN/EJECT⏏スイッチを押し、グリップカバーを止まるまで開く

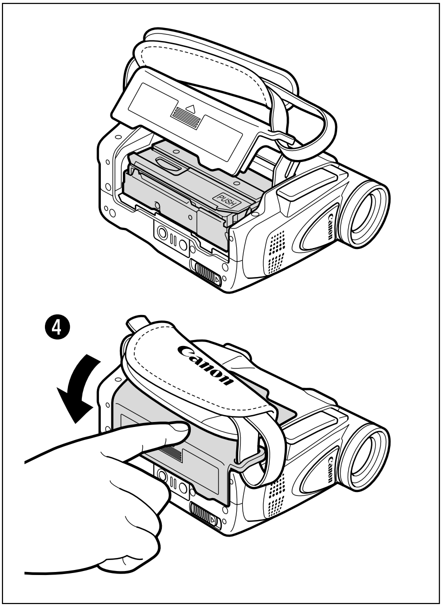
カセット入れが自動的に開きます。

❷ カセットを入れる／出す

- カセットの透明な窓をグリップ側に向け、誤消去防止ツマミを手前にして入れます。
- カセットを出すときは、カセット入れからまっすぐに引き抜きます。

❸ PUSH マークを押して、カセット入れを閉める

カセット入れが自動的に収納されます。



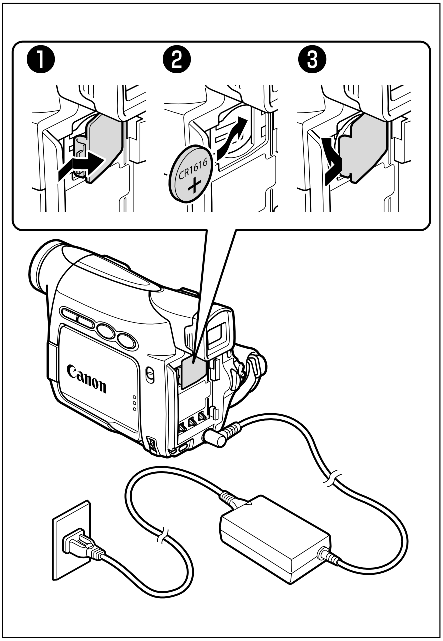
❹ カセット入れが完全に収納されてから、グリップカバーを閉める

- ❍ カセット入れが自動的に動いている間は、無理に押したり、動きを妨げたり、グリップカバーを閉じたりしないでください。故障の原因となります。
- ❍ グリップカバーを閉めるときは、指をはさまないようにご注意ください。

バッテリーパックなどの電源を取り付けていると、電源スイッチが「切」でも、カセットの出し入れはできます。操作が終わると自動的に電源が切れます。

コイン型リチウム電池を入れる

世界時計のエリアや日付、時刻（📖 24）などを記憶するには、コイン型リチウム電池が必要です。お使いになる前に付属のコイン型リチウム電池を入れてください。
電池を交換するときは、コイン型リチウム電池CR1616をお求めください。

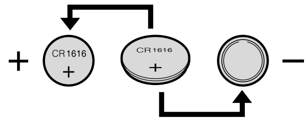


❶ **電池カバーを取りはずす**

電池を交換するときは、日付などのデータを保持するため、コンパクトパワーアダプターなどの電源を取り付けておいてください。

❷ **電池を入れる**

電池の＋側を外にして、スライドさせて電池入れに入れます。



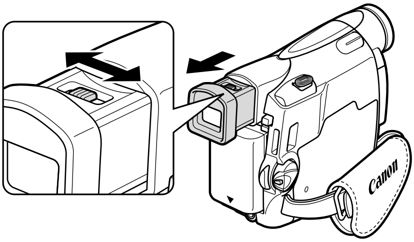
❸ **電池カバーを取り付ける**

コイン型リチウム電池の交換時期

コイン型リチウム電池は約1年使用できます。電池が入っていなかったり、電池の容量が低下すると、「」が画面で赤く点滅し、電池の交換時期を知らせます。

カメラの準備

ファインダーを調整する（視度調整）

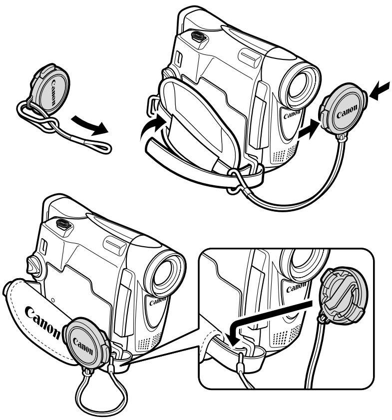


電源を入れ、ファインダーを止まるところまで、引き出します。ファインダー内の表示がはっきり見えるように、視度調整レバーを動かして調整します。

ファインダーを使用するときは、必ず液晶画面をカチッと音がするまでしっかりと閉じてください。

ファインダーを収納するときは、押し込んでください。

レンズキャップを取り付ける

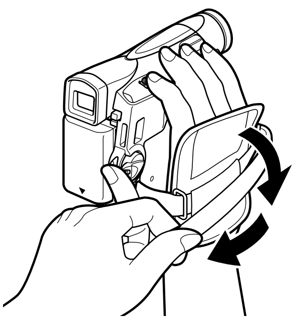


付属のひもをレンズキャップの穴に通し、本体のグリップベルトに取り付けます。

レンズキャップを取り付け／取りはずしするときは、キャップのボタンを押します。

撮影中は、レンズキャップをグリップベルトに引っ掛けておくと便利です。

グリップベルトを調整する

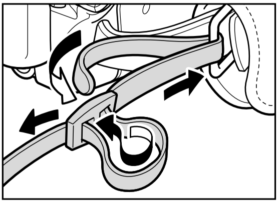


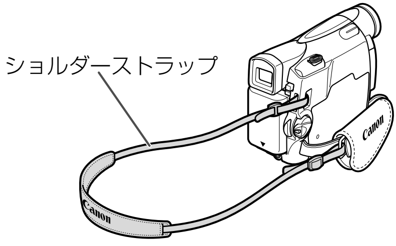
右手で本体を持ちながら、親指でスタート/ストップボタン、人差し指でズームレバーが操作できるように、手の位置を決め、ベルトの長さを調整します。

次のページへ

別売のショルダーストラップを取り付ける

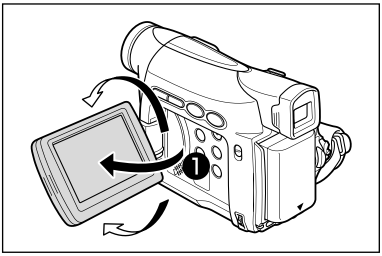
別売のショルダーストラップが取り付けられます。





液晶画面を調整する

液晶画面の角度を変える

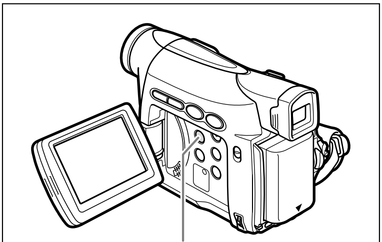


液晶画面を90゜まで開く

- 90゜まで内側に回転できます。
- 180゜まで外側に回転できます。

液晶画面全体を明るくする（液晶バックライト）

液晶画面の明るさを標準と明るいで切り換えられます。「液晶バックライトボタン」を押すたびに切り換ります。屋外の撮影などに便利です。

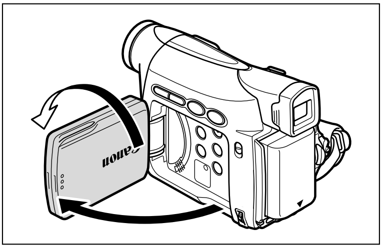


液晶バックライトボタンを押す

- ❍ テープに記録される映像の明るさは変わりません。また、ファインダーの明るさは変わりません。
- ❍ バッテリーパック使用時には、液晶画面の明るさ設定は、電源スイッチを操作しても憶えています。
- ❍ 液晶画面を明るくしているとバッテリー使用時間が短くなります（□ 18）。

液晶画面を相手に見せながら撮る（対面撮影）

液晶画面を相手に見せながら、ファインダーを使って撮影できます。セルフタイマー（□ 53）などで、ビデオカメラを固定して大勢で撮影したりするときにも便利です。



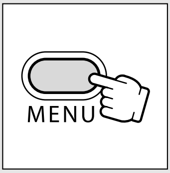
液晶画面を90゜まで開き、180゜まで回転する

日時を設定する

はじめてお使いになる場合や、コイン型リチウム電池を交換した場合には、画面に「エリア／日時を設定してください」の表示が出ます。日付／時刻を設定する前に、世界時計のエリアを設定してください。

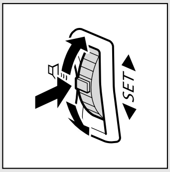
世界時計のエリアを選ぶ

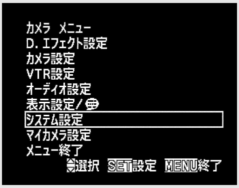
カメラモード　再生(VTR)モード



1 MENUボタンを押す

- メニューが出ます。

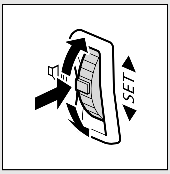




2 「システム設定」を選ぶ

① SETボタンを上／下に押して、選択枠を「システム設定」に合わせます。

② SETボタンをまっすぐ押すと、「システム設定」サブメニューが出ます。





3 「エリア／サマータイム」を選ぶ

① SETボタンを上／下に押して、選択枠を「エリア／サマータイム」に合わせます。

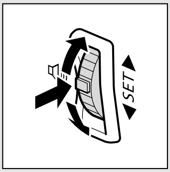
② SETボタンをまっすぐ押すと、「エリア／サマータイム」だけの表示になります。

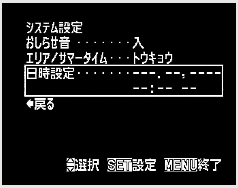
- はじめてお使いになる場合は「トウキョウ」が最初に表示されます。

③ SETボタンをまっすぐ押すと、「システム設定」サブメニューに戻ります。

日付／時刻を設定する

カメラモード　再生(VTR)モード

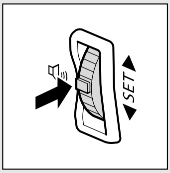




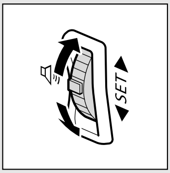
4「日時設定」を選ぶ

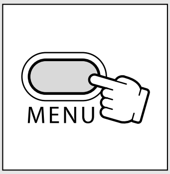
① SETボタンを上／下に押して、
　選択枠を「日時設定」に合わせます。

② SETボタンをまっすぐ押すと、
　「日時設定」だけの表示になります。









5 日付と時刻を設定する

例：2005年10月1日午前9時20分に設定する

① SETボタンをまっすぐ押して、
　項目を選びます。選んだ項目が点滅します。
　押すたびに、年→月→日→時→分と項目が変わります。

② SETボタンを上／下に押して、数字を選びます。

①と②の操作をくり返して設定します。

③ 時報に合わせて、MENUボタンを押します。
　内蔵時計が動き始めます。

基本編

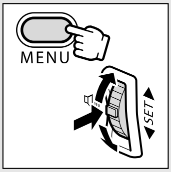
準備

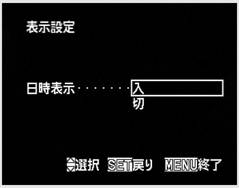
次のページへ

撮影時に日時を表示する

本機では、撮影中に現在の日時を画面の左下に表示できます。

カメラモード　再生(VTR)モード



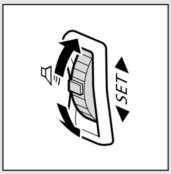


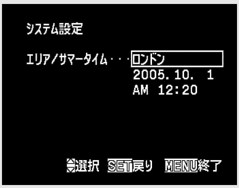
① MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「日時表示」➤「入」を順に選ぶ
・SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③ MENUボタンを押す

旅行先のエリアを選ぶ

本機の世界時計機能では、主要都市を含む世界24ケ所の標準時間を表示できます。海外へ旅行したときに「エリア」の設定を旅行先に変えるだけで、日時は現地時間に変わります。

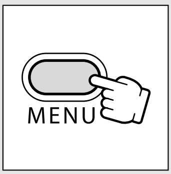
24ページの操作3-②のあと





1 エリアを選ぶ

- SETボタンを上／下に押します。
- 押すたびに都市名が変わり、その都市の日付／時刻になります。



2 MENUボタンを押す

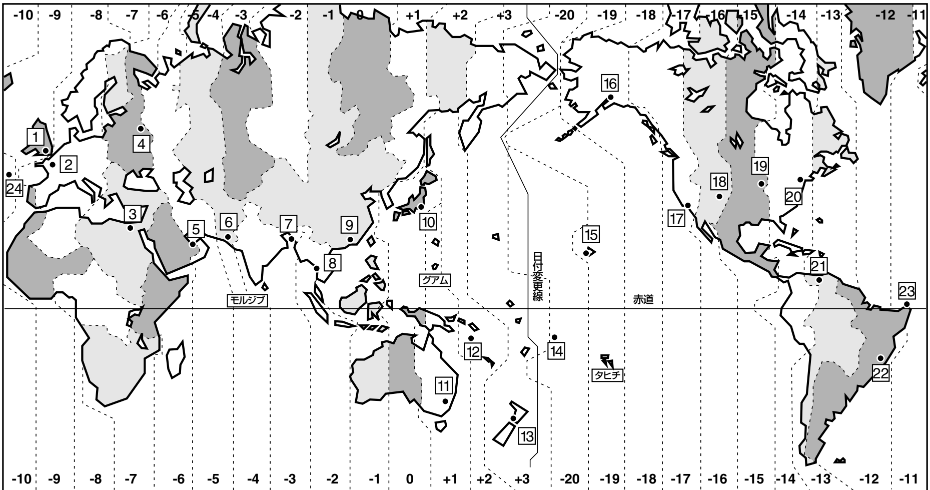
- メニューが消えます。

サマータイムを設定するときは



都市名の右に ☀ マークの付くものを選んでください。

世界時計の都市と代表国

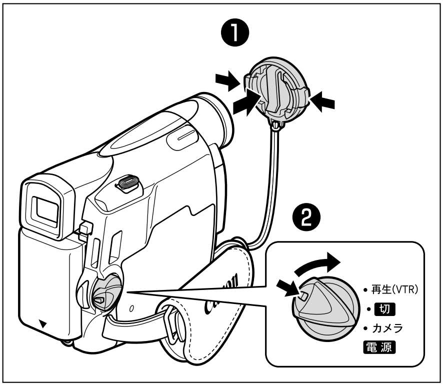


都市番号と都市名と日本との時差			代表国/代表地域
1	ロンドン	グリニッチ標準時 -9	イギリス（GMT：グリニッチ標準時）、ポルトガル
2	パリ	-8	イタリア、オランダ、スイス、スウェーデン、スペイン、ドイツ、中央ヨーロッパ標準時（CET）
3	カイロ	-7	エジプト、ギリシャ、トルコ
4	モスクワ	-6	イラク、ケニア、サウジアラビア、ロシア（モスクワ）
5	ドバイ	-5	アラブ首長国連邦
6	カラチ	-4	パキスタン、モルジブ
7	ダッカ	-3	インド、バングラデシュ
8	バンコク	-2	カンボジア、タイ、ベトナム、ジャカルタ
9	ホンコン	-1	オーストラリア西部（パース）、シンガポール、台湾、中国、フィリピン、ボルネオ島、バリ島
10	トウキョウ	日本標準時（JST）	日本、韓国
11	シドニー	+1	オーストラリア東部（シドニー、ゴールドコースト）、グアム、サイパン
12	ソロモン	+2	ニューカレドニア
13	ウェリントン	+3	ニュージーランド、フィジー
14	サモア	-20	西サモア
15	ホノルル	-19	タヒチ、ハワイ/米国ハワイ標準時（HST）
16	アンカレジ	-18	アンカレジ/米国アラスカ標準時（AST）
17	ロサンゼルス	-17	サンフランシスコ、ロサンゼルス/米国太平洋標準時（PST）、カナダ西海岸
18	デンバー	-16	デンバー/米国山地標準時（MST）
19	シカゴ	-15	シカゴ、ダラス/米国中部標準時（CST）、メキシコ
20	ニューヨーク	-14	ニューヨーク、ワシントン/米国東部標準時（EST）、モントリオール/カナダ東海岸、ペルー
21	カラカス	-13	チリ、ベネズエラ
22	リオ	-12	アルゼンチン、ブラジル
23	フェルナンド	-11	フェルナンドデノロニヤ島（ブラジル）
24	アゾレス	-10	アゾレス諸島（ポルトガル）

撮影する

撮影する前に
必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。大切な撮影の前には市販の乾式のクリーニングカセットを使って、ビデオヘッドをきれいにしてください。

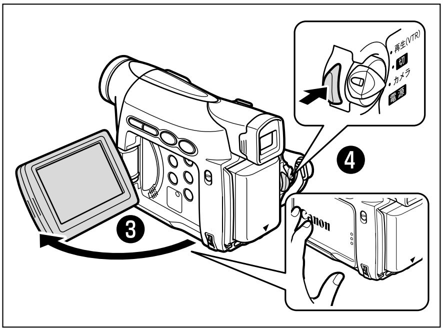
液晶画面を見ながら撮る



❶ レンズキャップをはずす

❷ カメラモードにする
電源スイッチを「カメラ」にする

- 電源スイッチは、緑のボタンを押しながら「カメラ」に合わせます。

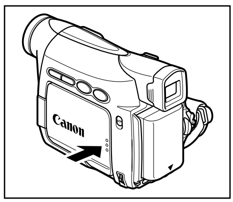


❸ 液晶画面を開く
見やすい角度に調整します。

❹ スタート/ストップボタンを押す
- 撮影（録画）が始まります。
- スタート/ストップボタンをもう一度押すと、撮影一時停止になります。

撮影が終わったら

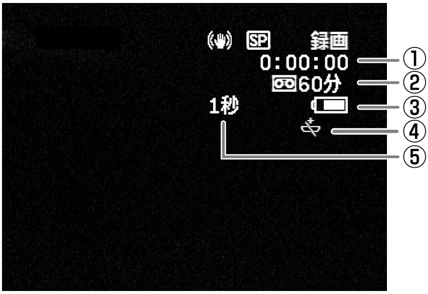
❶ 電源スイッチを「切」にする
❷ 液晶画面を垂直にしてから閉じる
カチッと音がするまでしっかりと閉じてください。
❸ レンズキャップをつける
❹ カセットを取り出す
❺ バッテリーパックを取りはずす



❍ カセットを入れた直後は、テープカウンターが完全に止まってから、撮影を始めてください。
❍ カセットを取り出さなければ、電源を切っても、次の場面をきれいにつないで撮影できます。
❍ 屋外など周囲が明るい場所で撮影するときに液晶画面が見にくい場合は、ファインダーで見ながら撮影してください。
❍ 大きな音の近く（打ち上げ花火や太鼓、コンサートなど）で撮影すると、音が歪んだり、実際より小さく記録されることがあります。これは故障ではありません。
❍ **撮影一時停止中は、テープとヘッドの保護のために、約5分で電源が切れます。電源が切れる約20秒前に、画面中央に「⚠AUTO POWER OFF」が出ます。撮影を続けるときは、電源スイッチを一度「切」にしてから、電源を入れ直してください。**

次のページへ

テープ撮影中の画面表示について



①タイムコード（撮影時間表示）

撮影時間を「時：分：秒」で表示します。
・本機はドロップフレーム方式を採用しています。ドロップフレーム方式では、30フレーム/秒でカウントするタイムコードと、フレーム周期が29.97秒のNTSC映像信号との間に生じるズレを自動的に補正し、より高精度の編集が可能です。

②テープの残量表示と「 END」の点灯

テープの残量時間を「分」で表示します。
撮影中にテープがなくなると「 END」が点灯し、停止します。
・撮影時間が15秒以下のときは残量表示が出ないことがあります。
・テープの残量表示は、テープの種類によっては、正しく表示されないことがあります。

③バッテリーパックの残量表示

バッテリーパックの残量の目安を表示します。



・バッテリーパックが消耗すると「」が赤く点滅します。充電したバッテリーパックと交換してください。
・消耗したバッテリーパックを装着すると、電源が入らなかったり、「」が出ずに切れたりすることがあります。
・残量と表示内容はビデオカメラ、バッテリーパックの状態により必ずしも一致しません。

④「」の点滅

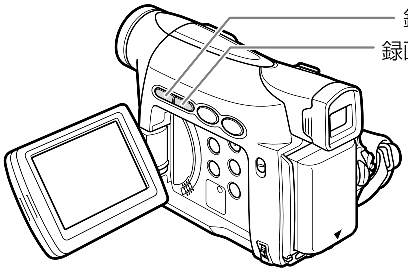
コイン型リチウム電池が入っていなかったり、電池の容量が低下すると、「」が赤く点滅します。新しいコイン型リチウム電池と交換してください。

⑤お知らせタイマー

撮影を始めてから約10秒間、撮影時間を表示します。
・1つの場面の撮影時間が短いと、落ち着きのない画面になりがちです。お知らせタイマーを見ながら、撮影すると便利です。

テープに撮影した画像を確認する（録画チェック／録画サーチ）

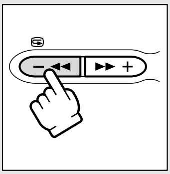
録画チェック	最後に撮影した場面を、画面で確認できます。
録画サーチ	撮影した場面を再生して、撮り直しや続けて撮影したい場面を探せます。



基本編
撮る

カメラモード　再生(VTR)モード

録画チェック



撮影一時停止中 **録画チェックボタンをポンと押す**

撮影した最後の場面（約3秒間）が再生され、撮影一時停止に戻ります。

録画サーチ

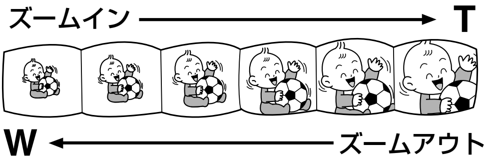


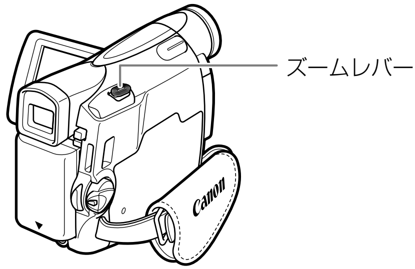
撮影一時停止中 **録画サーチ+／−ボタンを押し続ける**

押し続けている間、再生されます。ボタンを離すと、その場面で撮影一時停止になります。

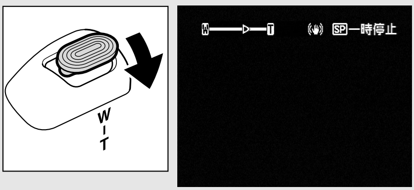
ズームを使って撮る

20倍光学ズームに加えて、400倍のデジタルズームを装備しています。



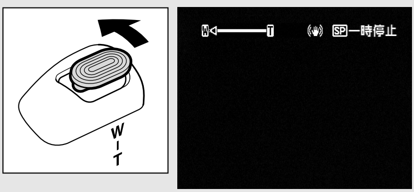


カメラモード　再生(VTR)モード



ズームインする

- ズームレバーをT側に引きます。
- 被写体が大きくなり、ズームインになります。



ズームアウトする

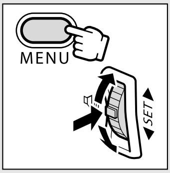
- ズームレバーをW側に押します。
- 被写体が小さくなり、ズームアウトになります。

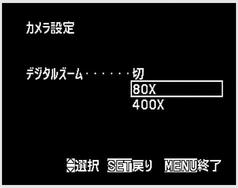
❍ ズームレバーを少し動かすと低速ズームに、さらに動かすと高速ズームになります。
❍ Tはtelephoto（望遠）、Wはwide（広角）の頭文字です。
❍ 撮影一時停止中は、より速いズームもできます。
❍ 撮影中ズームを使いすぎると、落ち着きのない画面になります。効果的にお使いください。
❍ ズームをしながら撮影するときは、被写体から1m以上離れてください。W側いっぱいに動かすと、約1cmまで近づいて撮影できます。

デジタルズームを設定する

デジタルズームを設定していて、光学ズーム領域を越えると、自動的にデジタルズームになります。デジタル領域では画像をデジタル処理するため、拡大するほど画面が粗くなります。

カメラモード　再生(VTR)モード





① MENUボタンを押す

②「カメラ設定」➤「デジタルズーム」➤ 設定内容を順に選ぶ

・SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

③ MENUボタンを押す

❍ ナイトモードでは、デジタルズームは使用できません。
❍ マルチ画面を設定しているときは、デジタルズームは使用できません。
❍ ズームレバーを操作すると、約4秒間、ズーム表示が出ます。デジタルズーム領域は、80倍までは水色、80倍から400倍までは青色で表示されます。

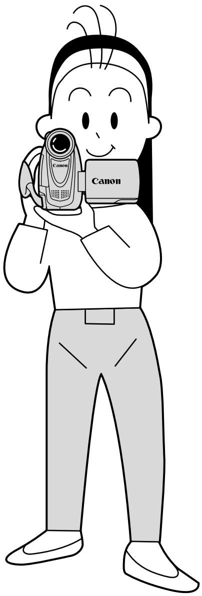
よりよいビデオ撮影のために

ビデオカメラ本体の持ちかた

ビデオカメラを持つときは、マイクやレンズに指がかからないようにしてください。

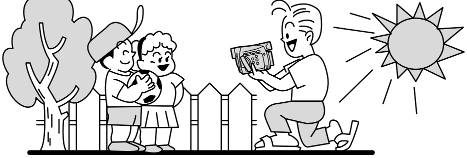
一番安定した構えかた

・ 右手でグリップを持ち、右脇をしめる。
・ 左手は軽くカメラの底にそえて安定させる。



ライティング

屋外でのビデオ撮影では、太陽を背に撮影することをおすすめします。

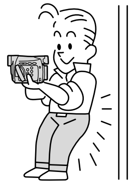


安定した撮影をするためには

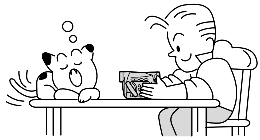
状況に合わせて構え方を変えましょう。

液晶画面は角度が変えられますので、姿勢に合わせて調整します。

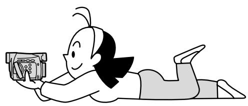
・ 壁に寄りかかる



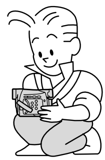
・ テーブルなどを利用して本体を置く



・ ひじをたてて地面に伏せる



・ 片膝立ちになる

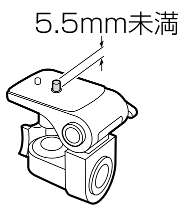


・ 三脚を使う



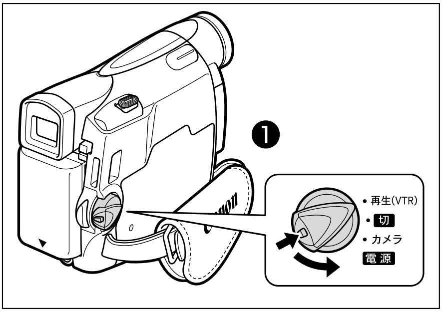
三脚を使うときには

・ 直射日光がファインダー内に入ると、レンズが光を集めるためにファインダーの回りが溶けてしまいます。ファインダーを太陽に向けないでください。
・ 三脚は、必ず取り付けネジの長さが5.5mm未満のものをご使用ください。5.5mm以上のネジ長のものを使用すると、本体を破損することがあります。



再生する

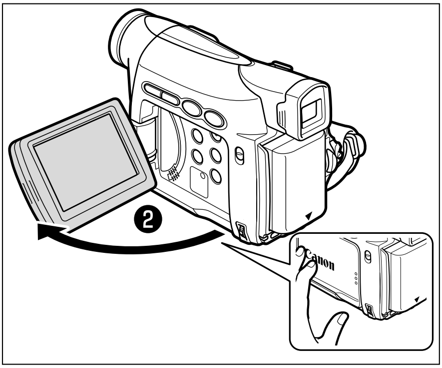
再生画面がおかしいときは
ビデオヘッドが汚れている場合があります。市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使ってビデオヘッドをきれいにしてください。



❶ 再生（VTR）モードにする

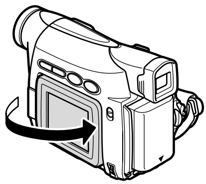
電源スイッチを「再生（VTR)」にする

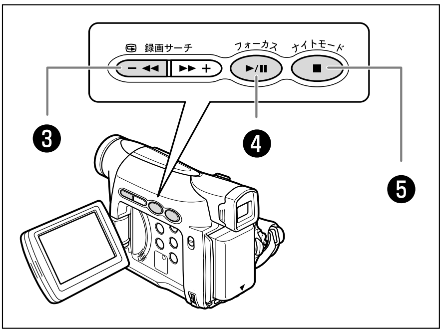
- 電源スイッチは、緑のボタンを押しながら「再生（VTR)」に合わせます。



❷ 液晶画面を開く

- 見やすい角度に調整します。
- 液晶画面を外側に向けて本体に収納できます。





❸ ◀◀ボタンを押す

テープを巻戻します。

❹ ▶/❚❚ボタンを押す

再生が始まります。

❺ ■ボタンを押す

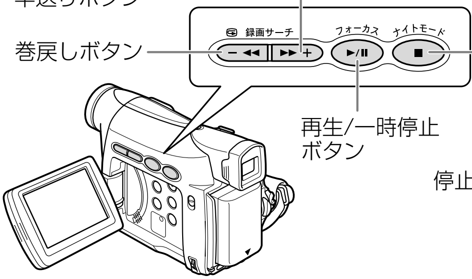
再生を止めます。

❍ 液晶画面を閉じると、ファインダーで再生画面を見ることができます。

❍ **画面表示について**
再生時のタイムコードは、「時：分：秒：フレーム」で表示されます。また、テープ残量表示は、再生時間が15秒以下のとき、表示されないことがあります（🕮 30)。

次のページへ

いろいろな再生

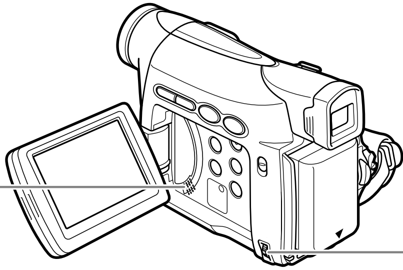


早送り再生 ▶▶	再生／早送り中に▶▶(早送り)ボタンを押し続けると、約9.5倍の早送り再生になります。
巻戻し再生 ◀◀	再生／巻戻し中に◀◀(巻戻し)ボタンを押し続けると、約9.5倍の巻戻し再生になります。
再生一時停止 ▶II	再生中に▶/II(一時停止)ボタンを押します。

❍ いろいろな再生機能を使って再生したときは、音声は聞こえません。
❍ 再生機能によっては、画面が多少乱れることがあります。
❍ 再生一時停止が約5分以上続くと、テープとヘッドの保護のため、自動的に停止状態になります。再生するときは、もう一度再生ボタンを押します。

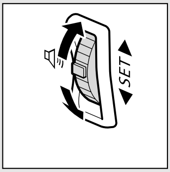
音量を調整する

液晶画面で再生するときに、同時にスピーカーで音声も聞くことができます。液晶画面を閉じるとスピーカーは切れます。



スピーカーの音量を調整する

カメラモード　再生(VTR)モード





SETボタンを上／下に押す

- 音量表示が出ます。調整を終えると、約2秒後に表示は消えます。

音声の消しかた

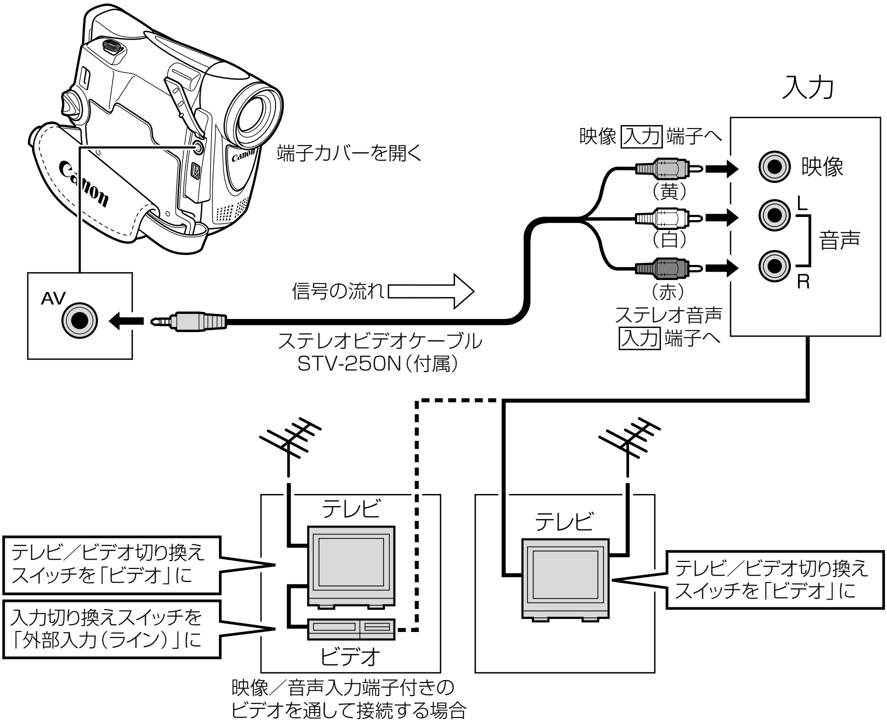


- SETボタンを下に押し続けます。音量表示が消え、「切」が出ます。
- 再び音声を聞くときは、SETボタンを上に押します。

テレビで見る

映像/音声入力端子付きのテレビにつないで見る　ステレオ

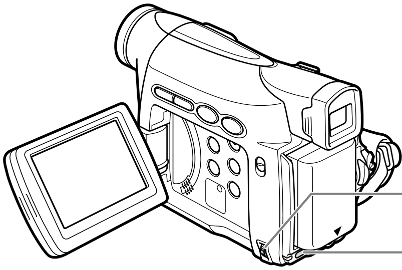
接続は、各機器の電源を切って行います。接続する機器の使用説明書もあわせてご覧ください。



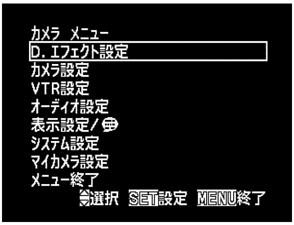
- ❍ 本機にコンパクトパワーアダプターを接続して、家庭用のコンセントで使うことをおすすめします。
- ❍ **ビデオ方式 IDシステム（ID-1）方式対応のテレビの場合**
  本機でワイドテレビ用に撮影した映像をテレビで見るときに、映像入力端子につないで再生すると、自動的にワイド画面に切り換わります。

ご購入時の設定を変える（メニュー）

本機のさまざまな機能について、ご購入時の設定をメニューから変更できます。
メニュー項目は、メニュー一覧（🕮 79〜84）をご覧ください。



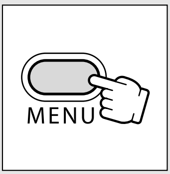
メニュー画面下部の緑でマークされている表示は、本体上のボタンを表しています。



⇕ 選択	SETボタンを上／下に押して、設定内容を選択します。
SET 設定	SETボタンをまっすぐ押して、設定します。
SET 戻り	SETボタンをまっすぐ押して、前のメニューに戻ります。
MENU 終了	MENUボタンを押して、メニューを終了します。

ここでは、カメラモードのときに、本体で操作する場合で説明しています。
例：「デジタルズーム」を「80×」に設定する

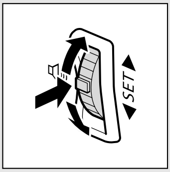
1 MENUボタンを押す

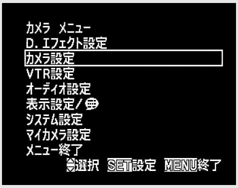


- メインメニューが出ます。

次のページへ

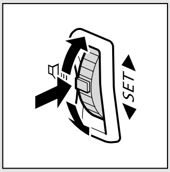
2 項目を選ぶ

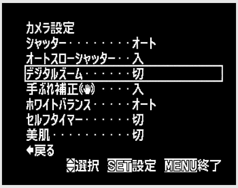




①SETボタンを上／下に押して、選択枠を設定する項目に合わせます。
②SETボタンをまっすぐ押すと、選んだ項目のサブメニューが出ます。

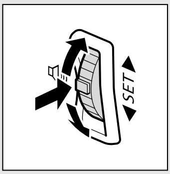
3 機能を選ぶ

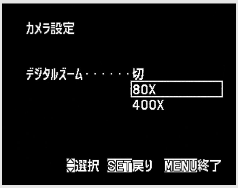




①SETボタンを上／下に押して、選択枠を設定する機能に合わせます。
②SETボタンをまっすぐ押すと、選んだ機能だけの表示になります。

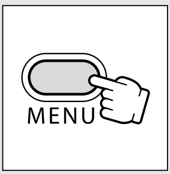
4 設定内容を選び、設定する





①SETボタンを上／下に押して、選択枠を設定する設定内容に合わせます。
②SETボタンをまっすぐ押すと、サブメニューに戻ります。

5 MENUボタンを押す



- メニューが消えます。
- シャッタースピード、ホワイトバランスと言語以外の機能は、4-②の操作の代わりにMENUボタンを押しても選択内容を設定し、メニューを終了できます。

❍ 他の機能の設定内容などにより設定できない項目は、紫色で表示されます。
❍ MENUボタンを押すと、メニューはいつでも終了します。

撮影場面や目的に合わせて撮る（プログラムAE）

撮影モードについて

撮影シーンに合わせて、撮影モードを選びます。

かんたんモード

すべてをカメラまかせ。
スタート/ストップボタンを押すだけで、簡単に撮影できるモードです。メニューなどで、設定できない機能があります。



オートモード

カメラまかせで撮影できるモードですが、メニューなどで、細かく設定できます。



スポーツモード

テニスやゴルフなど、動きの速い被写体の撮影に適しています。



ポートレートモード

背景や被写体の手前にあるものをボカし、被写体を引き立たせて撮影します。ズームを望遠（T）側にすると、背景のボケの効果がより大きくなります。



スポットライトモード

スポットライトなどで照明されたシーンや花火などをきれいに撮影できます。



サーフ&スノーモード

夏の海岸や冬のスキー場など、照り返しが強い場所でも被写体が暗くなるのを防ぎ、鮮明に撮影できます。

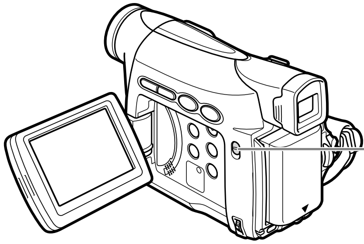


次のページへ

ローライトモード

多少暗いところや暗くても照明が使えない場所で、被写体を明るく撮影できます。





撮影モードによって、操作できる機能が異なります。

撮影モード	□ かんたん	A					
手ぶれ補正	×（入）	○					
ピント合わせ	×（オート）	○					
ホワイトバランス		○					
ウィンドカット		○					
シャッタースピード		○	オート				
AEシフト	×	○			×		○
デジタルエフェクト		○					

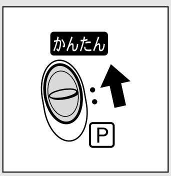
オート：自動調整になります。　○：操作できます。　×：操作できません。（　）の設定になります。

撮影モードの選びかた

カメラモード　再生(VTR)モード

1 □かんたんモードの場合

撮影モード切換スイッチを「かんたん」にする

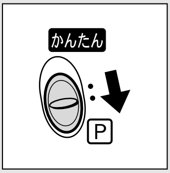


- 「□かんたん」の表示が出ます。

1

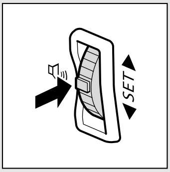
□かんたんモード以外の場合

撮影モード切換スイッチをⓅにする



2

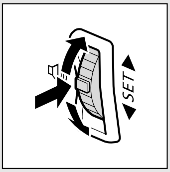
SETボタンをまっすぐ押す

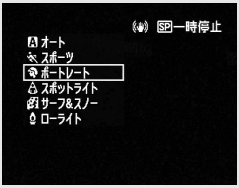


- プログラムAEメニューが出ます。

3

撮影モードを選ぶ



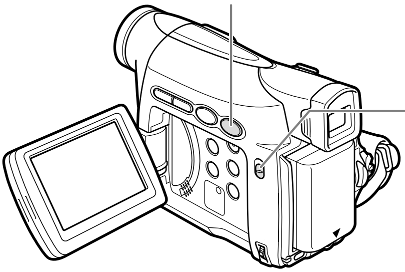


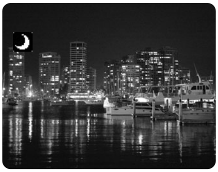
①SETボタンを上／下に押して、選択枠を撮影したいモードに合わせます。
②SETボタンをまっすぐ押すと、選んだモードのアイコン表示が出ます。

- ❍ プログラムAEモードの設定は、一度、撮影モード切換スイッチを「かんたん」にした後にⓅに戻すと、「オート」になります。
- ❍ プログラムAEモードを変えると、映像の明るさが一時的に大きく変化することがありますので、撮影中はモードを変えないでください。
- ❍ AEは、自動露出の意味です。(Auto-Exposure)
- ❍ スポーツモード／ポートレートモード：
  再生すると、なめらかに見えないことがあります。
- ❍ サーフ&スノーモード：
  - ・曇りや日陰など周囲が暗いときには、被写体が明るくなり過ぎる場合があります。画面で映像をご確認ください。
  - ・再生すると、なめらかに見えないことがあります。
- ❍ ローライトモード：
  - ・動きのある被写体は、尾を引いたような残像になります。
  - ・明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
  - ・自動でピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください。

ナイトモードを使う

夜景や暗くても照明が使えない場所で、被写体をカラーで明るく撮影できます。



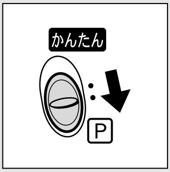


ナイト

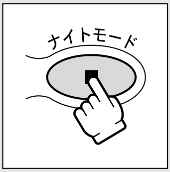
操作のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード

1　撮影モード切換スイッチをⓅにする



2　ナイトモードボタンを押す



- 「☽」のアイコン表示が出ます。
- もう一度押すと、オートモードになります。

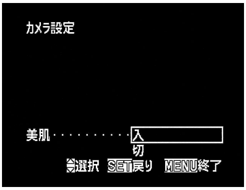
❍ 動きのある被写体は、尾を引いたような残像になります。
❍ 明るく撮影できる分、通常の撮影に比べて画質が多少劣化することがあります。
❍ 画面に白い点などが現れることがあります。
❍ 自動でピントが合いにくいときは、手動でピントを合わせてください。
❍ ナイトモードを設定しているときは、デジタルズームとマルチ画面は使用できません。
❍ ナイトモードを設定しているときは、プログラムAEメニューから撮影モードを選択できません。

美肌モードを使う

美肌モードを使うと、肌がなめらかに表現されて、よりきれいに見えます。

設定のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード

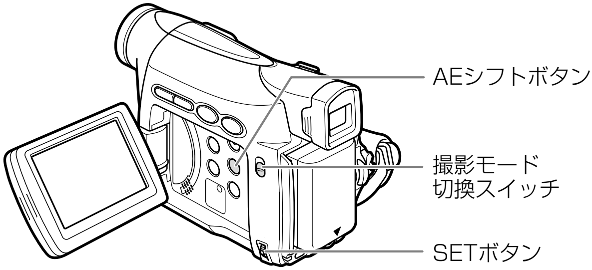


①MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「美肌」➤「入」を順に選ぶ
　・SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③MENUボタンを押す
　・「美肌」の表示が出ます。

❍ □かんたんモードでは、美肌モードは使用できません。
❍ 人物を大きく撮影するときに使うと効果的です。画面の中に肌色に近い部分があるときも、ソフトに表現されます。
❍ 電源スイッチや撮影モード切換スイッチを切り換えると、美肌モードは「切」になります。

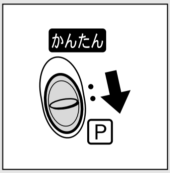
自動露出の明るさを変える（AEシフト）

被写体が太陽を背にしていたりする逆光の状態では、被写体が黒くつぶれてしまうことがあります。逆に、あまり強い光を被写体が受けると、白くとんでしまいます。このようなときには、撮影するときの露出を自動で調整するAEのレベルを明るめにしたり、暗めにしたりできます。
−2.0、−1.5、−1.25、−1.0、−0.75、−0.5、−0.25、±0、+0.25、+0.5、+0.75、+1.0、+1.25、+1.5、+2.0の15段階から選べます。



カメラモード　再生(VTR)モード

1 撮影モード切換スイッチをⓅにする



- スポットライト、サーフ&スノー以外のいずれかの撮影モードに設定します（47）。

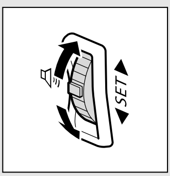
2 AEシフトボタンを押す





- 「AE ±0」（水色）の表示が出ます。

3 SETボタンを上／下に押す

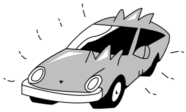


- 明るさを調整します。
- 「MF」の表示が水色のときは、調整ができません。もう一度、AEシフトボタンを押してください。

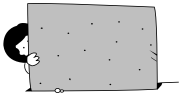
AEシフトの設定は、電源スイッチや撮影モード切換スイッチを切り換えても憶えています。

手動でピントを合わせる

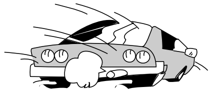
自動でピントが合いにくい場合は、手動でピントを合わせます。自動ではピントが合いにくい被写体は、次のとおりです。



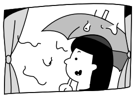
・輝いたり、強い光が反射している



・明暗の差や縦の線がない



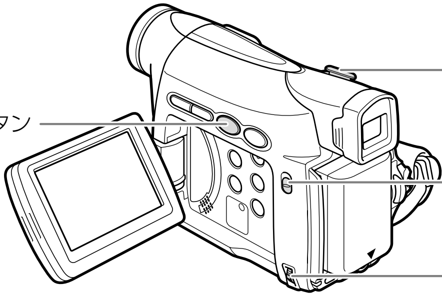
・動きが速い



・水滴や汚れの付いたガラス越し

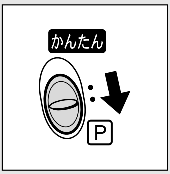


・夜景



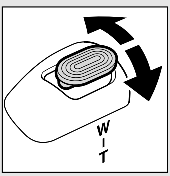
カメラモード　再生(VTR)モード

1 撮影モード切換スイッチをⓅにする



● □かんたん以外の撮影モードにします(📖43)。

2 ズームレバーで被写体の大きさを決める



● 手動でピントを合わせてから、ズームで大きさを変えると、ピントがずれることがあります。先にズームで大きさを決めてからピントを合わせます。

次のページへ

応用編　撮る

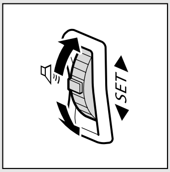
3 フォーカスボタンを押す





● 「MF」の表示が出ます。

4 SETボタンを上／下に押す



● ピントを合わせます。
● フォーカスボタンをもう一度押すと、自動ピント合わせに戻ります。「MF」の表示が消えます。

手動ピント合わせにしているとき

❍ 撮影モード切換スイッチを「かんたん」にすると、自動ピント合わせになります。ほかの撮影モードにしたときは、手動のままです。
❍ 電源を切ったときは、ピントを合わせ直してください。

ピントを無限遠にして撮影する

ピントを無限遠にすると、遠くの被写体だけにピントを合わせて、近くの被写体にピントが合うのを防ぐことができます。花火や月、山などを撮影するときに使います。



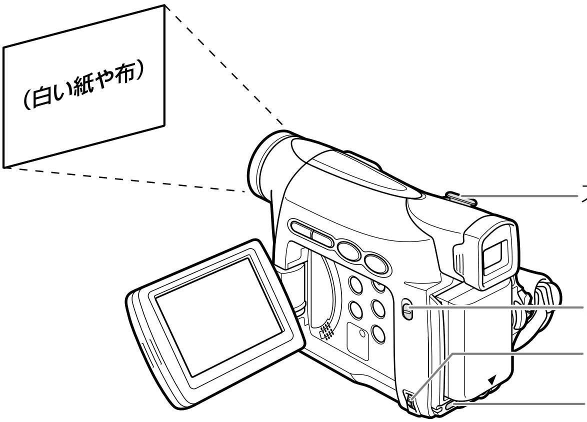
● 「手動でピントを合わせる」の2の操作の後に、フォーカスボタンを2秒以上押し続けます。
● ピントが無限遠になり、「MF∞」の表示が出ます。

「MF∞」の表示が出ているときに、ズームレバーまたはSETボタンを操作すると、「∞」が消え、手動ピント合わせになります。

色合いを調整する（ホワイトバランス）

蛍光灯や太陽光など、光が変わることによる色の微妙な変化を調整します。
本機では、自動的に色合いを調整するオートホワイトバランスのほかに、ホワイトバランスセット、さらに屋内（☼）と屋外（☀）を選択できます。

オート	自動的に自然な色合いに調整するとき。
ホワイトバランスセット	さまざまな光源で、白を白く撮影するとき。
屋内 ☼	パーティー会場など照明条件が変化する場所や、スタジオ、ビデオライト、ナトリウムランプの照明で撮影するとき。
屋外 ☀	夜景や花火、朝日、夕焼けを撮影するとき。

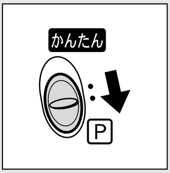


設定のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード

1 撮影一時停止中

撮影モード切換スイッチをⓅにする



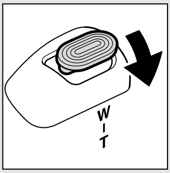
● □かんたん以外の撮影モードにします（📖43）。

次のページへ

2

ホワイトバランスセットの場合のみ

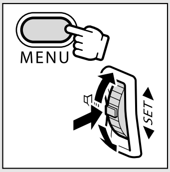
ズームレバーをＴ側に引く



- 白い紙や布を画面いっぱいに写します。
- 操作3が終わるまで、白い紙を写し続けてください。

3

ホワイトバランスを選ぶ

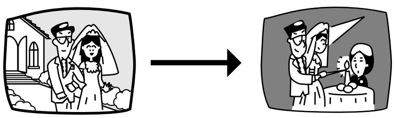




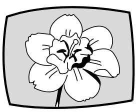
①MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「ホワイトバランス」➤ 設定内容を順に選ぶ
・SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
- 「カメラ設定」サブメニューに戻ります。
- 「セット」の場合：「セット」が点滅し、色合いの調整が完了すると点灯に変わります。

③MENUボタンを押す
・設定した項目の表示が出ます。

- ❍ 通常の屋外では、「オート」を使った方がきれいに撮影できます。
- ❍ 撮影モード切換スイッチを「かんたん」にした場合、ホワイトバランスは「オート」に戻ります。
- ❍ 一度設定したホワイトバランス「セット」は、電源を切っても憶えています。
- ❍ **ホワイトバランス「セット」を行う場合**
  - ・ごくまれに、光源によっては点灯に変わらない（ゆっくりとした点滅）ことがありますが、この場合でも自動調整よりも適切なホワイトバランスになりますので、そのまま撮影できます。
  - ・照明の十分な場所で行ってください。また、光源が変わったときは、セットし直してください。
  - ・「カメラ設定」サブメニューで「デジタルズーム」を「切」にしてください。
- ❍ 次のような場合は、自動では色合いを調整できないことがあります。画面で色が不自然に見えるときは、「セット」で調整をしてください。



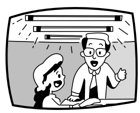
・照明条件が急に変わるとき



・クローズアップ撮影をするとき



・単一色の被写体（空、海、森など）を撮影するとき



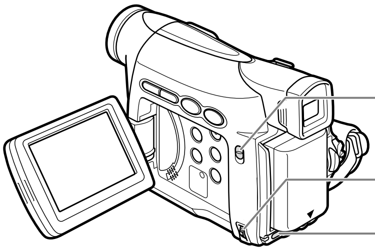
・水銀灯や一部の蛍光灯で撮影するとき

速い動きを撮る（シャッタースピード）

シャッタースピードを手動で設定し、スポーツや乗り物などの動きの速い被写体をぶれの少ない画面で撮影できます。6段階のシャッタースピード（1/60秒、1/100秒、1/250秒、1/500秒、1/1000秒、1/2000秒）があります。

高速シャッターで撮影するときの目安は、次のとおりです。

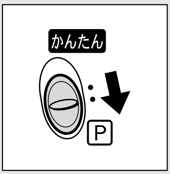
1/100秒	屋内でスポーツをしている人を撮影するとき。
1/1000、1/500、1/250秒	自動車や列車などから外を撮影するときや、ジェットコースターなどの動きの速い乗り物を撮影するとき。
1/2000秒	晴天下で、テニスやゴルフなどスポーツをしている人を撮影するとき。

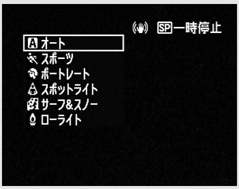


カメラモード　再生(VTR)モード

1 撮影モードを「オート」にする

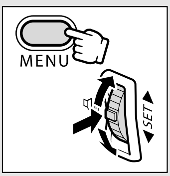
撮影一時停止中





- 撮影モード切換スイッチをⓅにし、Ⓐオートモードを選びます（📖43）。

2 シャッタースピードを選ぶ





①MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「シャッター」➤ 設定内容を順に選ぶ
・SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
- 「カメラ設定」サブメニューに戻ります。

③MENUボタンを押す
・選んだシャッタースピードの表示が出ます。

次のページへ

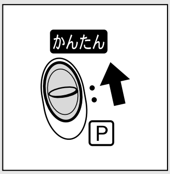
❍1/1000秒以上の高速シャッターでは、画面内に太陽を入れないでください。
❍高速シャッターのときは、画像がパラパラとちらついて、なめらかに見えないことがあります。
❍蛍光灯の下での撮影について
□かんたんモード、オートモード、ナイトモードでは、蛍光灯のちらつきを検出して自動的にシャッタースピードが切り換わります。画面の明るさがちらつくときは、オートモードを選び、1/100秒の高速シャッターを選んでください。
❍プログラムAEモードを切り換えたり、撮影モード切換スイッチを「かんたん」にすると、シャッタースピードは「オート」に戻ります。

オートスローシャッターを使う

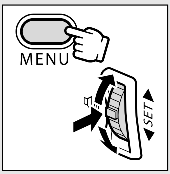
暗めの室内など明るさが不足する場所で、スローシャッターを使って明るく撮影できます。
1/30秒までのスローシャッターになります。動きのある被写体を撮影するとき、尾を引いたような残像が出る場合は、オートスローシャッターの設定を切ることができます。

カメラモード　再生(VTR)モード

1 撮影モードを「かんたん」モードにする、またはオートモードにして「シャッター」を「オート」にする



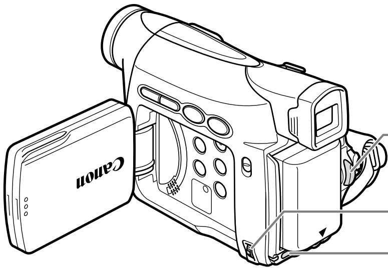
2 オートスローシャッターの設定を選ぶ





①MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「オートスローシャッター」➤設定内容を順に選ぶ
・SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③MENUボタンを押す

セルフタイマーを使う

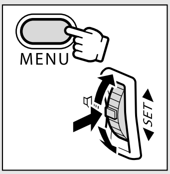


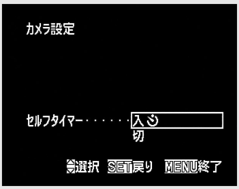
操作のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード

1 撮影一時停止中

「セルフタイマー」の設定を「入 ⏲」にする



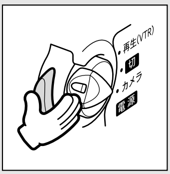


① MENUボタンを押す
②「カメラ設定」➤「セルフタイマー」➤設定内容を順に選ぶ
- SETボタンを上／下に押して「入 ⏲」を選び、まっすぐ押して設定します。

③ MENUボタンを押す
- 「⏲」の表示が出ます。

2

スタート/ストップボタンを押す



- 録画開始までの時間が10秒から1秒までカウントダウンされます。

❍ **セルフタイマーを解除する**
スタート／ストップボタンを押す前は、メニューで「切」を選んでください。
スタート／ストップボタンを押した後は、スタート／ストップボタンを押してください。

❍ セルフタイマーは、電源を切ると解除されます。

録画モードを選ぶ

SP（標準）モードまたはLP（長時間）モードが選択できます。LPモードはSPモードの録画時間の1.5倍になります。

カメラモード　再生(VTR)モード



①MENUボタンを押す

②「VTR設定」➤「録画モード」➤ 設定内容を順に選ぶ

・SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

③MENUボタンを押す

・「SP」または「LP」の表示が出ます。

LPモードでの録画／再生は、テープの特性や使用環境に影響されやすく、再生時、画面にモザイク状のノイズが発生したり、音声が途切れたりする場合があります。
大切な撮影にはSPモードをお使いください。

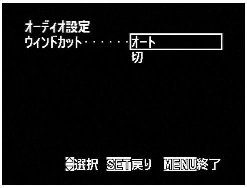
❍ 本機でLPモードで録画したテープをほかのデジタルビデオ機器で再生したり、ほかのデジタルビデオ機器でLPモードで録画したテープを本機で再生すると、画像が乱れたり、音声が途切れたりすることがあります。

❍ テープの途中でSPとLPを切り換えて録画すると、切り換え部分で再生画像が乱れます。また、タイムコードが正しく更新されないことがあります。

風音を低減して撮る（ウィンドカット）

風の影響を受ける屋外で撮影する際、風の「ボコボコ」という音の影響を自動的に低減できます。
風の影響を受けない場所や低い音まで収録する場合は、設定を解除することもできます。

カメラモード　再生(VTR)モード



① MENUボタンを押す

②「オーディオ設定」➤「ウィンドカット」➤ 設定内容を順に選ぶ

- SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

③ MENUボタンを押す

- 「切」を選ぶと「Wカット OFF」の表示が出ます。

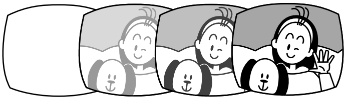
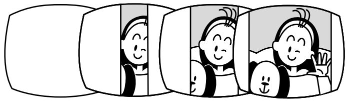
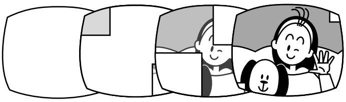
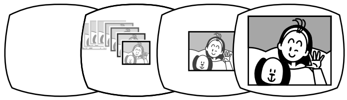
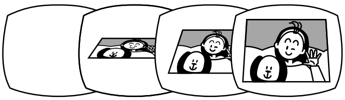
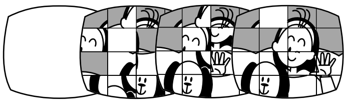
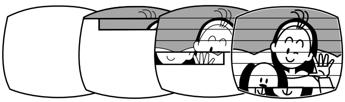
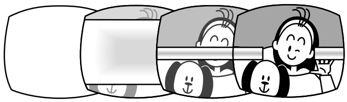
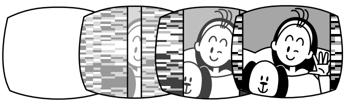
場面の切り換えと特殊効果(デジタルエフェクト)

3種類のデジタルエフェクト機能があります。撮影時だけでなく、再生時にも使用できます。

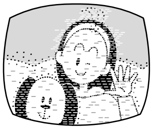
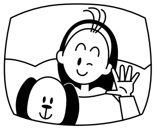
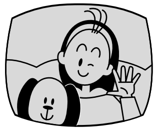
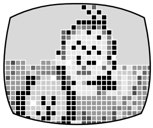
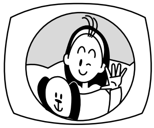
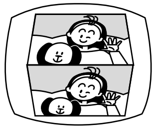
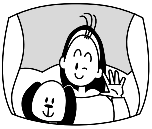
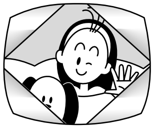
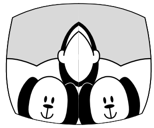
フェーダー：テレビや映画のように画面と画面の切り換えができます（📖 58）。

フェードイン：白い画面から徐々に映像と音声を出す。

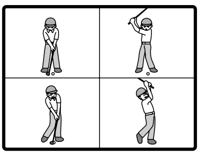
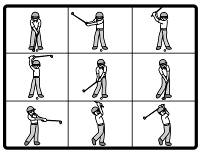
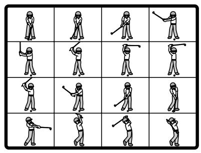
フェードアウト：映像と音声を徐々に消す。

オートフェード 	ワイプ 
コーナーワイプ 	ジャンプ 
フリップ 	パズル 
ジグザグ 	ビーム 
タイド 	

エフェクト：色を変えたり、特殊効果を加えることができます（📖 59）。

アート 	シロクロ 	セピア 
モザイク 	ボール 	キューブ 
ウェーブ 	カラーマスク 	ミラー 

マルチ画面：画面を4／9／16分割して、静止画を表示します。また、静止画にして取り込むスピードを選択できます（📖 61）。

4分割 	9分割 	16分割 

次のページへ

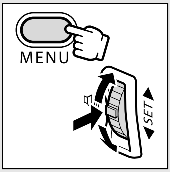
フェーダーの操作のしかた

フェードイン：撮影一時停止中または再生一時停止中に使う
フェードアウト：撮影中または再生中に使う

撮影時にフェーダーを使用するときは、撮影モード切換スイッチをPにします。

カメラモード　再生(VTR)モード

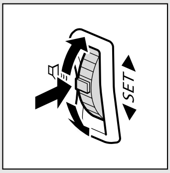
1 フェーダーを選ぶ

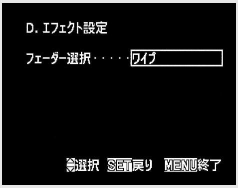




①MENUボタンを押す
②「D.エフェクト設定」➤「D.エフェクト選択」➤「フェーダー」を順に選ぶ
・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

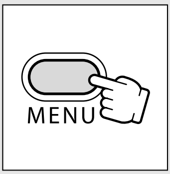
2 フェーダーの種類を選ぶ





①SETボタンを上／下に押して、「フェーダー選択」を選び、まっすぐ押します。
②SETボタンを上／下に押して、設定するフェーダーの種類を選びます。

3 MENUボタンを押す

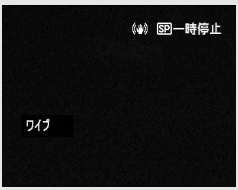




- 選んだフェーダー表示が点滅します。

4 ① デジタルエフェクト入/切ボタンを押す





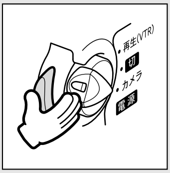
- 表示が点灯に変わります。
- 入/切ボタンをもう一度押すと、フェーダーは解除されます。

② **カメラモードの場合**

フェードイン 撮影一時停止中

フェードアウト 撮影中

スタート/ストップボタンを押す



- フェードインの場合：撮影が始まり、映像が徐々に現れます。
- フェードアウトの場合：映像が徐々に消えて、撮影一時停止になります。

再生（VTR）モードの場合

フェードイン 再生一時停止中

再生ボタンを押す

フェードアウト 再生中

一時停止ボタンを押す



- フェードインの場合：再生が始まり、映像が徐々に現れます。
- フェードアウトの場合：映像が徐々に消えて、再生一時停止になります。

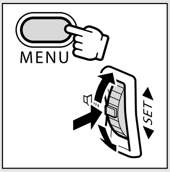
エフェクトの操作のしかた

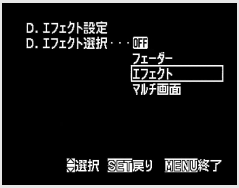
音声はそのまま記録されます。

撮影時にエフェクトを使用するときは、撮影モード切換スイッチをⓅにしてください。

カメラモード　再生(VTR)モード

1 エフェクトを選ぶ

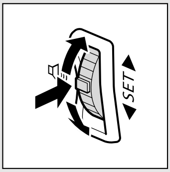


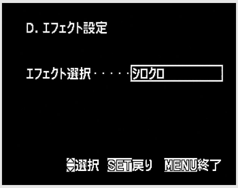


①MENUボタンを押す
②「D.エフェクト設定」➤「D.エフェクト選択」➤「エフェクト」を順に選ぶ
・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

次のページへ

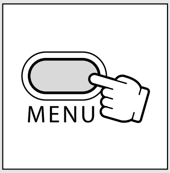
2 エフェクトの種類を選ぶ





①SETボタンを上／下に押して、「エフェクト選択」を選び、まっすぐ押します。
②SETボタンを上／下に押して、設定するエフェクトの種類を選びます。

3 MENUボタンを押す

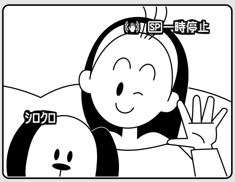




- 選んだエフェクト表示が点滅します。

4 デジタルエフェクト入/切ボタンを押す





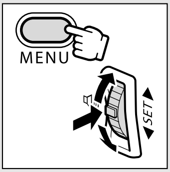
- 表示が点灯に変わり、画面がその効果になります。再生（VTR）モードの場合、テープを再生してから、入/切ボタンを押します。
- 入/切ボタンをもう一度押すと、画面のエフェクト効果は解除されます。

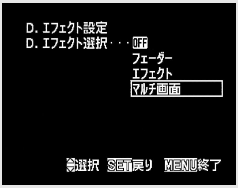
マルチ画面の操作のしかた

マルチ画面は、遊園地やスポーツシーンなどで動いている被写体を一度に最大16画面連続して表示できます。テニスやゴルフのスイングなどをチェックするときに便利です。音声はそのまま記録されます。
分割する画面数（4／9／16）や静止画にして取り込むスピード（マニュアル／はやい／ふつう／おそい）を選べます。
撮影時にマルチ画面を使用するときは、撮影モード切換スイッチを P にします。
再生時にマルチ画面を使用するときは、再生一時停止にします。「画面スピード」が「マニュアル」のときは、スロー再生中にも使用できます。

カメラモード　再生(VTR)モード

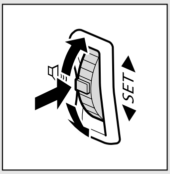
1 「マルチ画面」を選ぶ

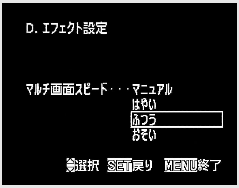




①MENUボタンを押す
②「D.エフェクト設定」➤「D.エフェクト選択」➤「マルチ画面」を順に選ぶ
・SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

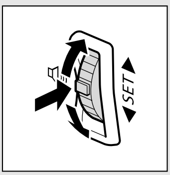
2 取り込みスピードを選ぶ





①SETボタンを上／下に押して、「マルチ画面スピード」を選び、まっすぐ押します。
②SETボタンを上／下に押して、設定するスピードを選びます。
● 画面を取り込むスピードの目安は、次のとおりです。
・マニュアル：手動で映像を取り込む
・はやい：4フレームごと
・ふつう：6フレームごと（ローライトモード時は、8フレームごと）
・おそい：8フレームごと（ローライトモード時は、12フレームごと）

3 画面数を選ぶ

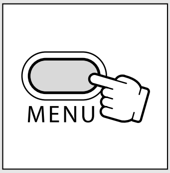




①SETボタンを上／下に押して、「マルチ画面数」を選び、まっすぐ押します。
②SETボタンを上／下に押して、設定画面数を選びます。

次のページへ

4 MENUボタンを押す





- 「マルチ画面」が点滅します。

5 デジタルエフェクト入/切ボタンを押す





- 表示が点灯に変わります。
- 画面スピードが「マニュアル」以外の場合：選んだスピードで選んだ画面数の画像を取り込みます。入/切ボタンを押すと、マルチ画面は解除されます。
- 画面スピードが「マニュアル」の場合：入/切ボタンを押すごとに画像を取り込みます。最後の画面が取り込まれると水色の枠が消えます。
  入/切ボタンを1秒以上押し続けると、最後の映像から順に解除されていきます。

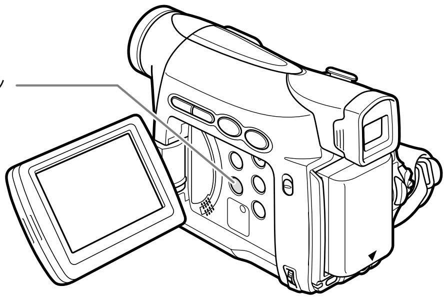
❍ デジタルエフェクトを使用しないときは、「OFF」に設定します。
　① MENUボタンを押す
　②「D.エフェクト設定」➤「D.エフェクト選択」➤「OFF」を順に選ぶ
❍ 一度設定したデジタルエフェクトは、電源を切ったり、撮影モードを変更しても憶えています。
❍ 次の場合、デジタルエフェクトは使用できません。
　・ 撮影モードを □かんたんにしているとき。
　・ DVケーブルを接続し、テープを再生してダビングするとき（DV出力）。

マルチ画面について

❍ 次の場合、マルチ画面は使用できません。
　・ ナイトモードを設定しているとき。
　・「ワイドTV」に設定しているとき。
❍ マルチ画面スピードが「マニュアル」以外の場合、再生（VTR）モードでマルチ画面を取り込んでいるときに、テープの走行で使う操作ボタン（再生/一時停止ボタンなど）を押すと、マルチ画面は解除されます。

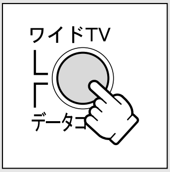
ワイド画面で撮影する（ワイドTV）

ワイドテレビ（画面の横、縦の比率が16：9）用機能を使うと、CCDをより広く活用して、通常よりも広い範囲を、より高画質で撮影できます。



カメラモード　再生(VTR)モード

1 ワイドTVボタンを押す



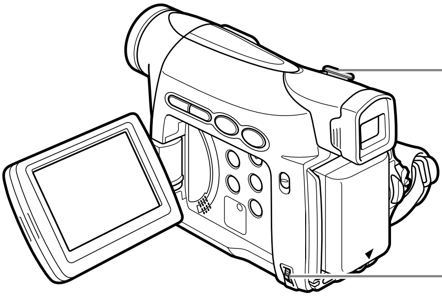
- 画面に「WIDE」が出ます。
- 液晶画面では、ワイド画面になります。ビューファインダーでは縦に伸びた映像になります。

❍「ワイドTV」にして撮影したテープをテレビで再生するときは、テレビをワイドテレビモードに切り換えてください(詳しくは、テレビの使用説明書もあわせてご覧ください)。通常(画面の横、縦の比率が4：3)のテレビで再生すると、縦に伸びた映像になります。ビデオID-1方式対応のテレビに接続すると、自動的にワイド画面に切り換わります（🕮 38)。

❍「ワイドTV」に設定しているとき、マルチ画面は使用できません。

再生中に画面を拡大する（再生ズーム）

再生中に、画面を5倍まで拡大できます。また、拡大する位置を上下、左右に移動できます。

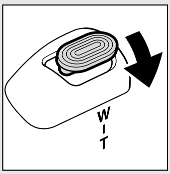


カメラモード　再生(VTR)モード

1

再生中

ズームレバーをT側に引く

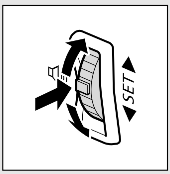


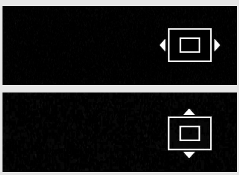


- 画面中央が2倍に拡大され、拡大している位置を示す枠が出ます。
- さらに拡大するときは、ズームレバーをT側に引きます。縮小するときは、ズームレバーをW側に押します。拡大する倍率に合わせて、枠の大きさが変わります。

2

SETボタンを上／下に押す

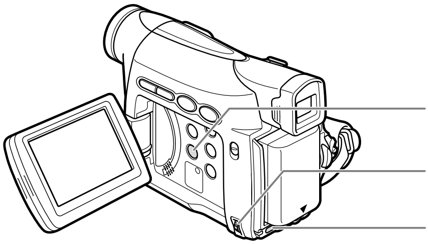




- 画面が移動します。
- SETボタンをまっすぐ押すと、画面の移動する方向（上下または左右）を切り換えられます。
- 拡大している枠が消えるまで、ズームレバーをW側に押すと、画面は元に戻ります。

再生時に日時、カメラデータを表示する（データコード）

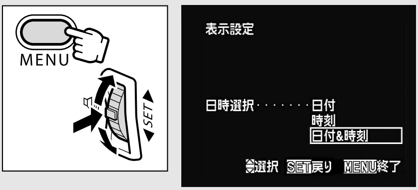
本機では、撮影時の日付／時刻とカメラデータ（シャッタースピードと絞り値（F値））が自動的に記録されます。
撮影時の日付／時刻、カメラデータを「データコード」といいます。
データコードの内容を選んで表示できます。



日時の表示内容を選ぶ（日付／時刻／日付＆時刻）

カメラモード　再生(VTR)モード

1 表示内容を選ぶ



①MENUボタンを押す
②「表示設定」➤「日時選択」➤ 設定内容を順に選ぶ
・SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
● 「表示設定」サブメニューに戻ります。

データコードの表示内容を選ぶ

カメラモード　再生(VTR)モード

2 表示内容を選ぶ



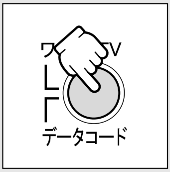
①「表示設定」➤「データコード」➤ 設定内容を順に選ぶ
・SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
● 「表示設定」サブメニューに戻ります。
②MENUボタンを押す

次のページへ

データコードを表示する

カメラモード　再生(VTR)モード

3 データコードを表示する



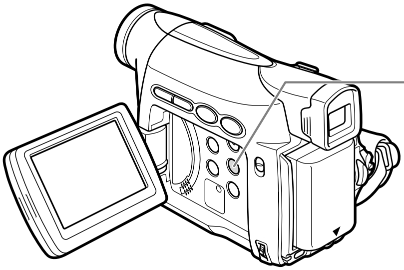


- テープを再生し、データコードボタンを押します。

データコードは、一度電源を切ると、表示されなくなります。

テープに撮影した最後の場面を探す（エンドサーチ）

テープを再生した後に、最後に撮影した場面から続けて撮影したいときに使います。



カメラモード　再生(VTR)モード

1

テープ停止中

エンドサーチボタンを押す





- 「エンドサーチ」の表示が出ます。
- テープが早送り／巻戻しされ、最後に撮影した場面が数秒間再生された後に停止します。
- エンドサーチ中にもう一度ボタンを押すと、中止します。

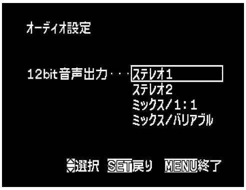
❍ 一度テープを取り出すと、エンドサーチは使用できません。
❍ テープの途中に未記録部分があると、エンドサーチが正しく働かないことがあります。

アフレコ済みのテープを再生する

撮影時の音声とアフレコした音声を切り換えられます。また、2つの音声を同時に再生することもできます。

ステレオ1	撮影時の音声のみ再生する
ステレオ2	アフレコされた音声のみ再生する
ミックス／1：1	ステレオ1とステレオ2を同じバランスで再生する
ミックス／バリアブル	ステレオ1とステレオ2の音声のバランスを変えて再生する

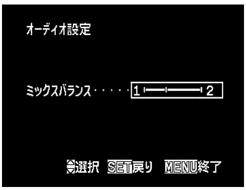
カメラモード　再生(VTR)モード



①MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「12bit音声出力」➤ 設定内容を順に選ぶ
・SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
③MENUボタンを押す
・選んだ設定内容の表示が出ます。

「ミックス／バリアブル」を選んだ場合

カメラモード　再生(VTR)モード



①MENUボタンを押す
②「オーディオ設定」➤「ミックスバランス」を順に選ぶ
・SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。
・ステレオ1とステレオ2のバランスは、SETボタンを上／下に押して調整します。
③MENUボタンを押す

❍ 一度調整した音声のバランスは電源を切っても憶えていますが、電源を切ると12bit音声出力は「ステレオ1」に戻ります。
❍ 本機ではアフレコはできません。

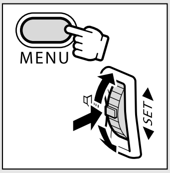
マイカメラ機能を使う

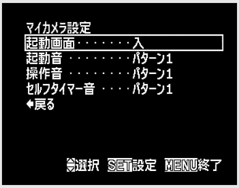
本機では、起動画面と起動音、操作音、セルフタイマー音の設定（マイカメラ）を変更できます。

マイカメラの設定を変える

カメラモード　再生(VTR)モード

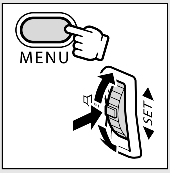
1 項目を選ぶ

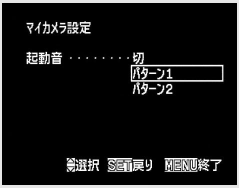




①MENUボタンを押す
②「マイカメラ設定」➤ 設定内容を順に選ぶ
- ・ SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

2 設定内容を選ぶ





①SETボタンを上／下に押して設定内容を選ぶ
- 起動画面では、「入、切」の選択画面になります。
  起動音、操作音、セルフタイマー音では「切、パターン1、パターン2」の選択画面になります。
- 選んだ音が確認できます。メニューで「おしらせ音」が「切」のときは、音は確認できません。

②MENUボタンを押す

ほかのビデオデッキへ録画する

本機を再生機として、ビデオデッキを録画機として使うことで、本機で撮影したテープをダビング編集できます。また録画側のビデオがDV端子付きのデジタルビデオの場合は、デジタル信号のまま、画質、音質劣化のほとんどないダビング編集ができます。

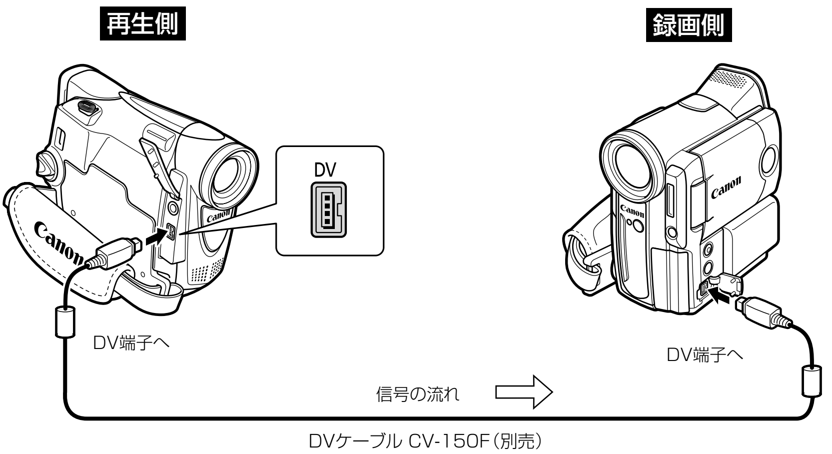
接続のしかた

① 映像/音声端子付きビデオへ録画する

接続のしかたは、 🕮 38をご覧ください。

② DV端子付きビデオへ録画する

接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。



操作のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード

1 **本機** **再生（VTR）モードにする**

- 再生するカセットを入れます。

2 **録画機** **録画用カセットを入れ、録画一時停止状態にする**

3 本機 巻戻しボタン／早送りボタンを押して、再生を始める少し手前の位置を探す



4 本機 再生ボタンを押す

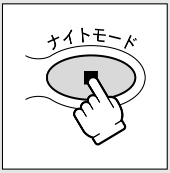


- 再生が始まります。

5 録画機 録画を開始する場面で、録画を始める

6 録画機 録画を終える

7 本機 停止ボタンを押す



- 再生が終わります。

❍ DV端子のないビデオ機器へダビングした映像は、多少画質が劣化します。

DV端子付きビデオへ録画する場合

❍ DVケーブルを正しく接続していても、映像が出ないことがあります。このようなときはDVケーブルを接続し直すか、電源を入れ直してください。

❍ DV（IEEE1394）端子を持つすべてのビデオ機器との接続を保証するものではありません。正しく動作しない場合は、映像／音声端子を使用してください。

❍ コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源を取ることをおすすめします。

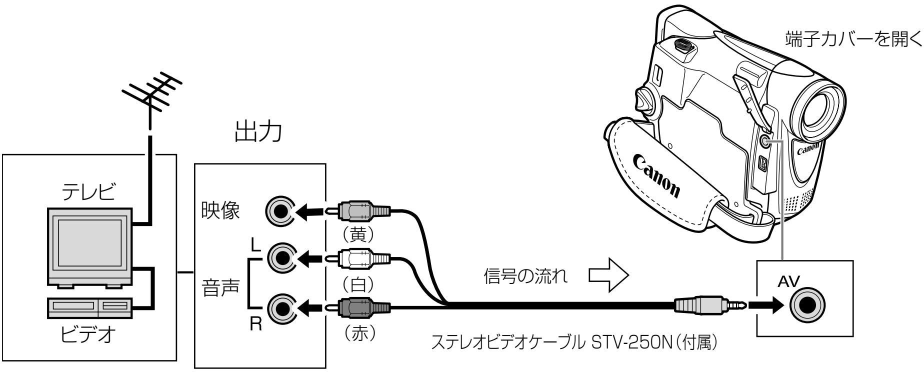
ほかのビデオやテレビの映像を録画する（アナログ入力）

本機を録画機として使用して、ほかのビデオの映像やテレビ番組をダビングしたり、編集することができます。

接続のしかた

映像/音声端子付きビデオから録画する

接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。



操作のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード

1 **本機** **再生（VTR）モードにする**

- 録画用カセットを入れます。

2 **再生機** **再生するカセットを入れる**

3 **本機** **録画一時停止ボタンを押す**



- 録画一時停止中／録画中は、画面で映像を確認できます。

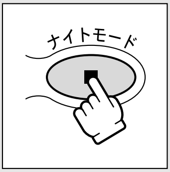
4 再生機　再生を始める

5 本機　録画を開始する場面で、一時停止ボタンを押す



- 録画が開始されます。

6 本機　停止ボタンを押す



- 録画が終わります。
- 一時停止したいときは、一時停止ボタンを押します。録画を再開したいときは、もう一度押します。

7 再生機　再生を終える

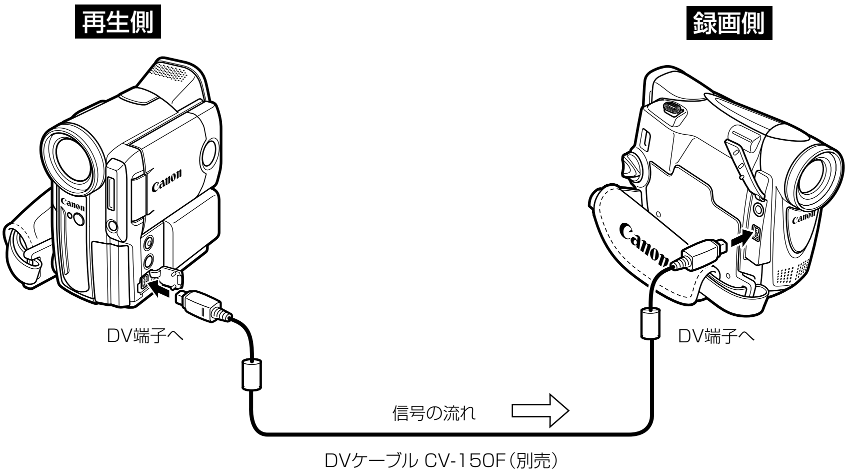
❍ コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源を取ることをおすすめします。
❍ 接続した機器からのアナログ信号によっては、正しくデジタル変換されない場合があります。
例：コピー不可の著作権保護信号入のアナログ信号、ゴーストなどを含む乱れたアナログ信号等

DV端子付きビデオから録画する

本機と、DV端子を持つほかのビデオ機器をDVケーブルで接続し、ダビング編集できます。

接続のしかた

接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。



操作のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード

1	**本機　再生（VTR）モードにする**	● 録画用カセットを入れます。 ●「AV→DV」の設定が「切」になっていることを確認します（🕮 76）。
2	**再生機　再生するカセットを入れる**	
3	**本機　録画一時停止ボタンを押す**  	● 録画一時停止中／録画中は、画面で映像を確認できます。

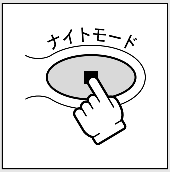
4 再生機 再生を始める

5 本機 録画を開始する場面で、一時停止ボタンを押す



● 録画が開始されます。

6 本機 停止ボタンを押す



● 録画が終わります。
● 一時停止したいときは、一時停止ボタンを押します。録画を再開したいときは、もう一度押します。

7 再生機 再生を終える

❍ 再生機がテープの無記録部分を再生すると、異常な映像が記録されることがあります。
❍ DVケーブルを正しく接続していても、映像が出ないことがあります。このようなときはDVケーブルを接続し直すか、電源を入れ直してください。
❍ DV端子から入力して本機で記録できる信号は、DV方式のSD方式で、SPまたはLPモードで記録された場合のみです。
同じ端子でも、信号の方式が異なる場合があります。
❍ コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源を取ることをおすすめします。

編集する

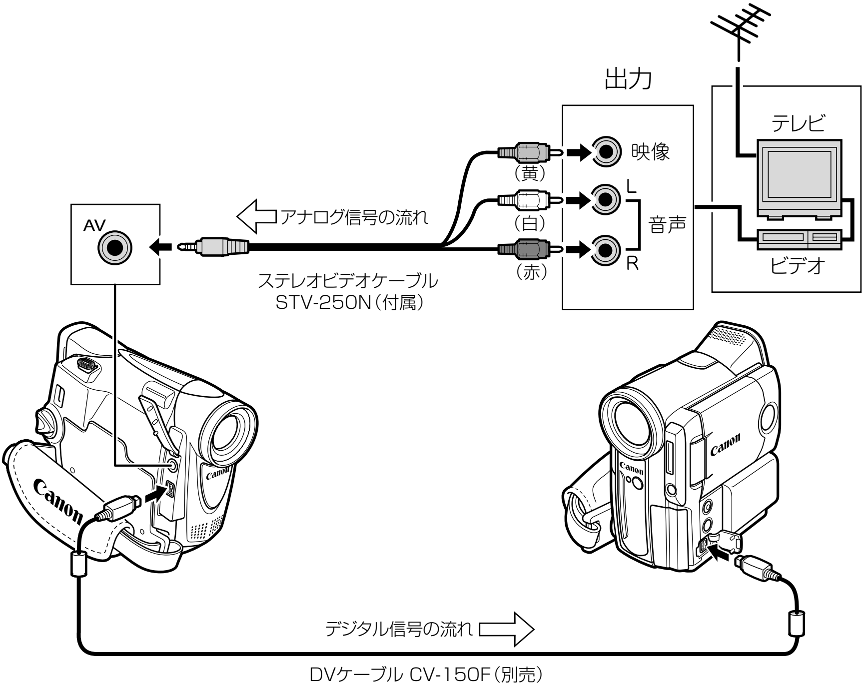
アナログ入力した映像と音声をデジタルビデオ機器に出力する(アナログ−デジタル変換)

本機にビデオデッキや8ミリビデオカメラを接続すると、アナログ信号の映像と音声を瞬時にデジタル信号に変換して、DV端子から出力できます。このとき、DV端子は出力専用端子になります。

接続のしかた

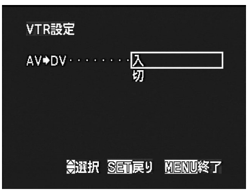
映像/音声端子付きビデオから入力する

接続は、各機器の電源を切って行います。DVカセットは、本機から取り出しておきます。接続するほかの映像機器の使用説明書もあわせてご覧ください。



設定のしかた

カメラモード　再生(VTR)モード



① MENUボタンを押す

②「VTR設定」➤「AV→DV」➤ 設定内容を順に選ぶ

・SETボタンを上／下に押して項目を選び、まっすぐ押して設定します。

③ MENUボタンを押す

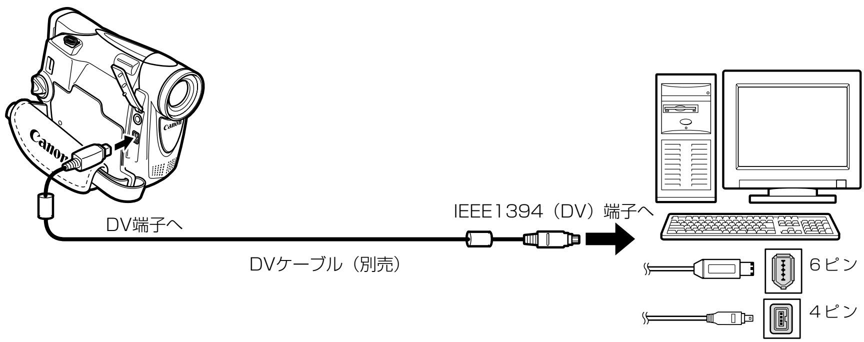
・「入」を選ぶと、「AV→DV」の表示が出ます。

❍ 接続した製品からのアナログ信号によっては、正しくデジタル変換されない場合があります。
例：コピー不可の著作権保護信号入りのアナログ信号、ゴーストなどを含む乱れたアナログ信号等
❍ 通常は「AV→DV」を「切」に設定しておいてください。「入」に設定していると、本機のDV端子からデジタル信号を入力できません。
❍ DV（IEEE1394）端子付きのパソコンに接続する場合、使用するソフトウェア、パソコンの設定などによっては、デジタル変換された映像と音声をパソコンで表示したり、取り込めないことがあります。

コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。

テープの映像をパソコンに取り込む（IEEE1394）

本機と、IEEE1394（DV）端子を標準で搭載しているパソコン／IEEE1394端子付きキャプチャーボードを搭載したパソコンをDVケーブルで接続すると、本機で記録した映像をパソコンに取り込めます。テープの映像をパソコンに取り込むためには、パソコン／キャプチャーボードに付属の編集ソフトウェアをご使用ください。ソフトウェアの使用説明書もあわせてご覧ください。また、ドライバーは、Windows 98 Second Edition以降のWindows OS、またはMac OS 9以降のMacOSに標準で搭載されており、本機をパソコンに接続すると、自動的にインストールされます。



- ❍ 使用するソフトウェア、パソコンの仕様／設定などによっては、正しく動作しないことがあります。
- ❍ 本機とパソコンを接続したときにパソコンで操作できない場合は、DVケーブルを抜き差ししてください。それでも操作できない場合は、次の操作をしてください。
  ① 本機とパソコンからDVケーブルを抜いてから、本機とパソコンの電源を切る。
  ② 本機とパソコンの電源を入れて、本機とパソコンにDVケーブルを接続し直す。

- ❍ コンパクトパワーアダプターを使って、家庭用コンセントから電源をとることをおすすめします。
- ❍ パソコンの使用説明書もあわせてご覧ください。
- ❍ Windows XPをお使いのかたは、下記のアドレスのホームページからダウンロードすることで、DV Network Software (DV Messenger)を使用できます。DV Network Software (DV Messenger)では、ビデオカメラの操作をしながら、テレビ電話ができます。詳しくは、ソフトウェアに添付されているDV Network Software使用説明書をご覧ください。

  http://cweb.canon.jp/dv/dvmessenger/index-j.html

メニュー一覧

メニュー一覧の設定内容について、ご購入時には太文字の内容に設定されています。

カメラメニュー（電源スイッチ：カメラ）

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
D.エフェクト設定			
D.エフェクト選択	**OFF**	デジタルエフェクトを使わない。	58
	フェーダー	フェーダーを使う。	
	エフェクト	エフェクトを使う。	
	マルチ画面	マルチ画面を使う。	
フェーダー選択	**オートフェード**、ワイプ、コーナーワイプ、ジャンプ、フリップ、パズル、ジグザグ、ビーム、タイド	フェーダーの種類を選ぶ。	58
エフェクト選択	**アート**、シロクロ、セピア、モザイク、ボール、キューブ、ウェーブ、カラーマスク、ミラー	エフェクトの種類を選ぶ。	60
マルチ画面スピード	マニュアル、はやい、**ふつう**、おそい	マルチ画面のスピードを選ぶ。	61
マルチ画面数	**4**、9、16	マルチ画面数を選ぶ。	61
カメラ設定			
シャッター	**オート**	シャッタースピードを自動で調整する。	51
	オート以外	シャッタースピードを手動で設定する。	
オートスローシャッター	**入**	1/30秒までのスローシャッターを使う。	52
	切	スローシャッターを使わない。	
デジタルズーム	**切**	デジタルズームの設定を選ぶ。	33
	80×		
	400×		
手ぶれ補正	**入**	手ぶれを補正する。 ・ズームの望遠側で撮るときなど、手ぶれの少ない安定した画面で撮影できます。 ・手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。 ・暗いところで、ナイトモードで撮影すると、手ぶれ補正が効きにくくなります。 ・□かんたんモードのときは、手ぶれ補正は解除できません。	–
	切	手ぶれ補正を解除する。 ・三脚などを使用して撮影するときやビデオカメラを左右に動かして撮影するときは、手ぶれ補正を切ることもできます（📖 34)。	

その他

サブメニュー項目	設定内容	意味	
カメラ設定			
ホワイトバランス	**オート**	色合いを自動で調整する。	46
	オート以外	色合いの調整を撮影する状況に合わせて設定する。	
セルフタイマー	入	セルフタイマーを使う。	53
	切	セルフタイマーを使わない。	
美肌	入	美肌モードを使う。	45
	切	美肌モードを使わない。	
VTR設定			
録画モード	**SP**	SP（標準）モードで録画する。	54
	LP	LP（標準の1.5倍の録画時間）モードで録画する。	
オーディオ設定			
ウィンドカット	**オート**	内蔵マイクを使用時に風の音などがあると検出して、風の影響を自動的に低減する。	55
	切	ウィンドカット機能を使わない。	
オーディオモード	16bit	ステレオ音声が高音質で記録できる。（アフレコできない）	–
	12bit	他のビデオ機器でアフレコできるように音声を記録する。*	
表示設定/			
液晶明るさ調整		液晶画面の明るさを調整する。SETボタンを上／下に押す。 ・液晶画面上の画像が暗すぎたり、明るすぎたりしたときに調整します。 ・画面の明るさの調整では、テープに記録される映像の明るさは変わりません。また、ファインダーの明るさは変わりません。	–
液晶対面ミラー	**入**	対面撮影するときに、液晶画面に映る映像が左右逆になり、鏡を見ているような映像になる。 ・画面のほとんどの表示が左右逆になります（ファインダーには、通常の表示が出ます）。	–
	切	ビデオカメラが撮っているそのままの画面になり、画面上の文字などを読むことができる。	
オンスクリーン	**入**	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示する。 ・モニターテレビで情報を確認しながら撮影するときに使います。	–
	切	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示しない。	
日時表示	入	撮影中に日時を表示する。	26
	切	撮影中に日時を表示しない。	

*本機ではアフレコできません。

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
表示設定/			
言語		画面に表示する言語を選ぶ。 DEUTSCH（ドイツ語）、ENGLISH（英語）、ESPAÑOL（スペイン語）、FRANÇAIS（フランス語）、ITALIANO（イタリア語）、РУССКИЙ（ロシア語）、简体中文（簡体中国語）、**日本語** ・画面下のSETとMENUは変更しません。	–
日時スタイル		日時の表示のしかたを選ぶ。 例）**2005. 1. 1 AM12:00**、 1.JAN. 2005 12:00 AM、 JAN. 1,2005 12:00 AM	–
デモモード	**入**	デモンストレーションを行う。 ・カセットを入れずに「入」に設定してメニューを閉じたとき、またはカセットが入っていない状態で電源スイッチを「カメラ」にして5分が過ぎると、自動的に機能紹介が始まります。 ・デモモードを終了するには、いずれかの操作ボタンを押す／電源を切る／カセットを入れます。	–
	切	デモンストレーションを行わない。	
システム設定			
おしらせ音	**入**	電源を入れたとき、スタート/ストップボタンを押したとき、セルフタイマーで撮影するとき、結露などの警告を知らせるとき、などに音が鳴る。	–
	切	おしらせ音をすべて鳴らないようにする。	
エリア／サマータイム		世界時計のエリアを設定する。	26
日時設定		日時を設定する。	25
マイカメラ設定			
起動画面	**入**、切	起動画面を入／切する。	69
起動音	切、**パターン1**、パターン2	起動音を選ぶ。	
操作音		操作音を選ぶ。	
セルフタイマー音		セルフタイマー音を選ぶ。	

VTRメニュー（電源スイッチ：再生（VTR））

サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
D.エフェクト設定			
D.エフェクト選択	**OFF**	デジタルエフェクトを使わない。	58
	フェーダー	フェーダーを使う。	
	エフェクト	エフェクトを使う。	
	マルチ画面	マルチ画面を使う。	
フェーダー選択	**オートフェード**、ワイプ、コーナーワイプ、ジャンプ、フリップ、パズル、ジグザグ、ビーム、タイド	フェーダーの種類を選ぶ。	58
エフェクト選択	**アート**、シロクロ、セピア、モザイク、ボール、キューブ、ウェーブ、カラーマスク、ミラー	エフェクトの種類を選ぶ。	60
マルチ画面スピード	マニュアル、はやい、**ふつう**、おそい	マルチ画面のスピードを選ぶ。	61
マルチ画面数	**4**、9、16	マルチ画面数を選ぶ。	61
VTR設定			
録画モード	**SP**	SP(標準）モードで録画する。	54
	LP	LP(標準の1.5倍の録画時間）モードで録画する。	
AV→DV	入	アナログ入力した映像と音声を、デジタル変換してDV端子から出力する。	76
	切	アナログ入力した映像と音声を、デジタル変換しない。	
オーディオ設定			
バイリンガル	**メイン＋サブ**	ステレオ音声または主＋副音声を再生する。	–
	メイン	左音声または主音声を再生する。	
	サブ	右音声または副音声を再生する。	
オーディオモード	16bit	ステレオ音声が高音質で記録できる（アフレコできない）。	–
	12bit	他のビデオ機器でアフレコできるように音声を記録する。*	
12bit音声出力	**ステレオ1**	撮影時の音声とアフレコした音声の再生のしかたを選ぶ。	68
	ステレオ2		
	ミックス/1：1		
	ミックス/バリアブル		

*本機ではアフレコできません。

サブメニュー項目	設定内容	意味	
オーディオ設定			
ミックスバランス		「12bit音声出力」で「ミックス/バリアブル」を選んだとき、ステレオ1とステレオ2のバランスを調整する。	68
表示設定/			
液晶明るさ調整		液晶画面の明るさを調整する。SETボタンを上／下に押す。 ・液晶画面上の画像が暗すぎたり、明るすぎたりしたときに使います。 ・画面の明るさの調整では、テレビで再生する、またはテープに記録される映像の明るさは変わりません。また、ファインダーの明るさは変わりません。	−
オンスクリーン	入	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示する。 ・モニターテレビで情報を確認しながら撮影するときに使います。	−
	切	画面の情報を本機に接続したテレビ画面に表示しない。	
再生時文字表示	**入**	再生時に画面に文字表示が出る。	−
	切	液晶画面での再生時にデータコード以外の画面の文字を消す。 ・再生ズーム中とデジタルエフェクト実行中は、表示します。 ・操作中は表示が出て、操作が終わると2秒後に消えます。 液晶画面のデータコード以外の文字を消すと、一部の警告文をのぞき、接続しているテレビの画面上の文字も消えます。	
日付オート表示	入	テープの再生を始めたとき、または再生中に日付／エリアが変わったときに約6秒間日付を表示する。 ・「再生時文字表示」が「切」になっていても、日付は約6秒間表示します。	−
	切	(約6秒間の)日付表示をしない。	
データコード	**日時**	データコードボタンを押すと、日時のみ表示する。	65
	カメラデータ	カメラデータを表示する。	
	日時＆カメラデータ	日時とカメラデータを表示する。	

その他

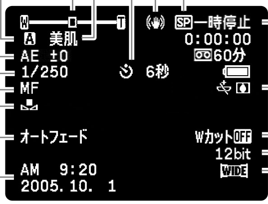
サブメニュー項目	設定内容	意味	📖
表示設定/			
日時選択	日付	「データコード」で「日時」を選択したとき、日付を表示する。	65
	時刻	「データコード」で「日時」を選択したとき、時刻を表示する。	
	日付＆時刻	「データコード」で「日時」を選択したとき、日付と時刻を表示する。	
言語		画面に表示する言語を選ぶ。 DEUTSCH（ドイツ語）、ENGLISH（英語）、ESPAÑOL（スペイン語）、FRANÇAIS（フランス語）、ITALIANO（イタリア語）、РУССКИЙ（ロシア語）、简体中文（簡体中国語）、**日本語** ・画面下のSETとMENUは変更しません。	–
日時スタイル		日時の表示のしかたを選ぶ。 例）**2005. 1. 1 AM12:00**、 1.JAN. 2005 12:00 AM、 JAN. 1,2005 12:00 AM	–
システム設定			
おしらせ音	**入**	電源を入れたとき、スタート/ストップボタンを押したとき、セルフタイマーで撮影するとき、結露などの警告を知らせるとき、などに音が鳴る。	–
	切	おしらせ音をすべて鳴らないようにする。	
エリア/サマータイム		世界時計のエリアを設定する。	26
日時設定		日時を設定する。	25
マイカメラ設定			
起動画面	**入**、切	起動画面を入／切する。	69
起動音	切、**パターン1**、パターン2	起動音を選ぶ。	
操作音		操作音を選ぶ。	
セルフタイマー音		セルフタイマー音を選ぶ。	

画面表示について

（点滅マーク）は点滅表示を示しています。

カメラモード

（30ページもご覧ください）



- 美肌 (□45)
- ズーム (□32)
- プログラムAE (□41)
- AEシフト (□46)
- シャッタースピード (□51)
- 手動ピント調整 (□47)
- ホワイトバランス (□49)
- デジタルエフェクト (□56)
- エリア/時刻/日付 (□24)
- セルフタイマー (□53)
- 手ぶれ補正 (□79)
- 録画モード (□54)
- テープ走行表示*
- （点滅マーク）：結露している (□99)
- ウィンドカット (□55)
- オーディオモード(12bit/16bit) (□80)
- ワイドTV (□63)

再生（VTR）モード



- 12bit音声出力 (□68)
- エンドサーチ (□67)
- データコード (□65)
- DV端子の接続 (□74、76)
- スピーカーの音量 (□37)

＊テープ走行表示

- 録画
- 一時停止
- 停止
- 取出し
- 再生
- 早送り▶▶
- ◀◀巻戻し
- ▶▶／◀◀：早送り再生／巻戻し再生 (□36)
- ▶ II：再生一時停止 (□36)

その他

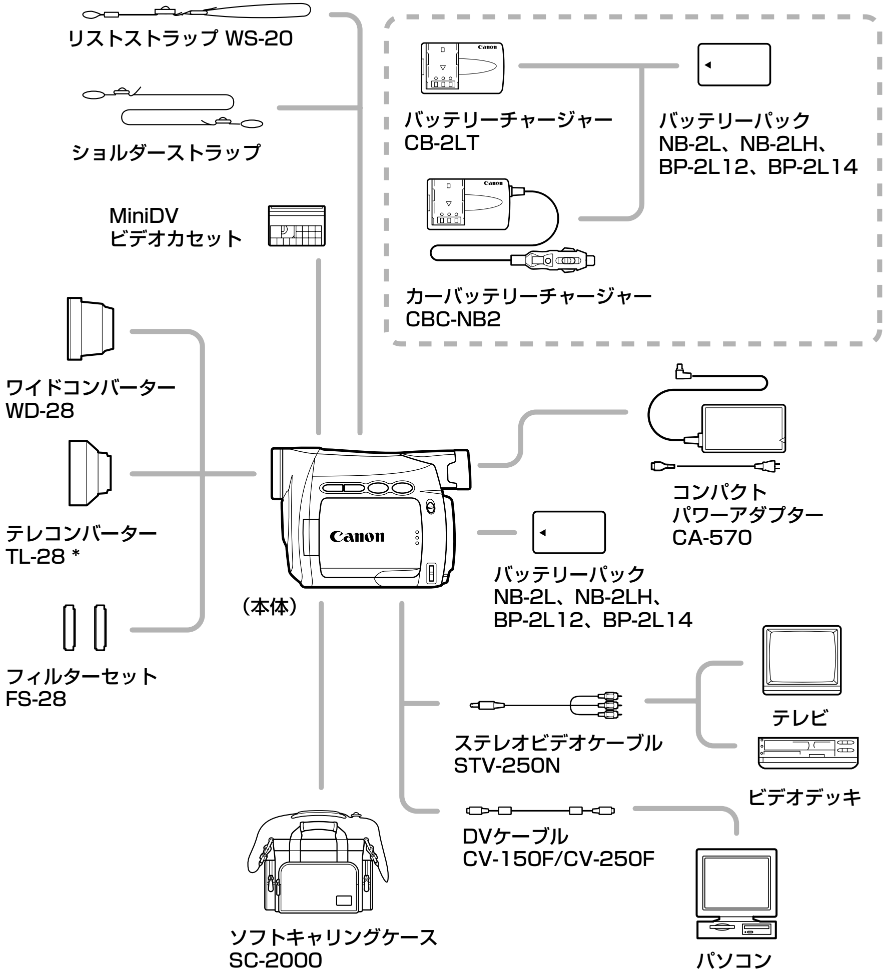
お知らせ表示(約4秒間表示されます)

エリア／日時を設定してください	世界時計のエリアまたは日時を設定していません。世界時計のエリアと日時を設定してください（📖 24)。
バッテリーパックを取り替えてください	バッテリーパックが消耗しています。十分に充電されたバッテリーと交換してください（📖 16)。
カセットの誤消去防止ツマミを確認してください	カセットが録画できない状態になっています。別のカセットと入れ換えるか、カセットの誤消去防止つまみをRECに切り換えてください（📖 92)。
カセットを取り出してください	テープ保護のため、本機が動作を中止しました。カセットを取り出して最初から操作をやり直してください（📖 19)。
入力を確認してください	ＤＶケーブルがＤＶ端子にきちんと接続されていない、または接続されたデジタルビデオ機器の電源が切れています。 ケーブルと端子、電源を確認してください（📖 74、76)。
結露しています	ビデオカメラ内部に水滴がついています（📖 99)。
テープ終了です	テープが最後まで巻かれています。カセットを巻戻す、または取り出してください（📖 19、35)。
記録フォーマットが異なります 再生できません	HDV形式で記録されているテープです。再生できません。

著作権保護信号

コピー制限されています 再生できません	(本機が再生側の場合) 著作権保護信号が記録されているテープです。再生できません。
コピー制限されています 記録できません	(本機が録画側の場合) 著作権保護信号が記録されているテープです。記録できません。または、アナログ入力時に、テレビやビデオから出力される信号が乱れています（📖 72、74)。 （アナログ－デジタル変換時） 信号入力中です（📖 76)。

キヤノンビデオシステム



* テレコンバーターを装着時は、ビデオカメラが被写体に近づける距離が変わります。
ズームのWの端：約3cm、Tの端：約3m

アクセサリーはキヤノン純正品のご使用をおすすめします。

本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリーと組み合わせて使用した場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので､キヤノン純正アクセサリーのご使用をおすすめいたします。なお、純正品以外のアクセサリーの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

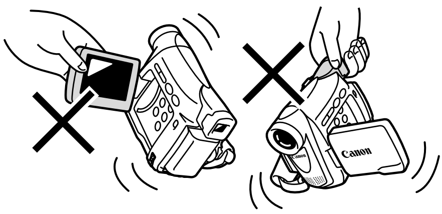
このマークは、キヤノンのビデオ関連商品の純正マークです。キヤノンのビデオ機器をお求めの際は、同じマークもしくはキヤノンビデオ関連商品をおすすめします。

記載内容は、2005年1月現在のものです。

取り扱い上のご注意

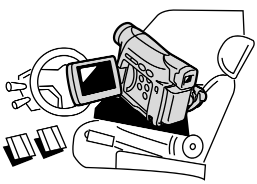
ビデオカメラについて

液晶画面やファインダーをつかんで、本機を持ち上げない



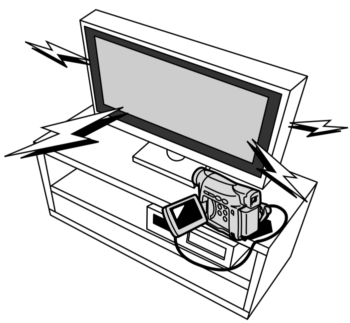
高温、多湿の場所に放置しない

炎天下の密閉された車内など、高温や多湿の場所に製品を放置しないでください。



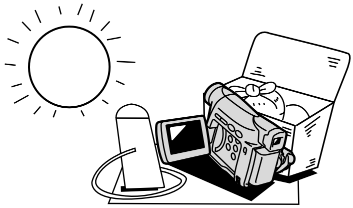
強い磁気の発生する場所で使わない

テレビの上、プラズマテレビの近く、携帯電話の近くやテレビ塔の近くなど、強い電波や磁気を発生する場所での撮影／再生や操作は避けてください。映像や音声が乱れたり、ノイズが入ることがあります。



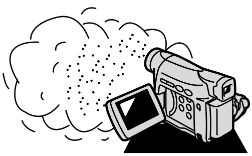
太陽や強いライトにレンズやファインダーを向けない

レンズやファインダーの接眼レンズは、絶対に太陽や強いライトに向けないでください。また輝度差の大きな被写体にカメラを向けたまま放置しないでください。



ホコリや砂の多い場所では使わない

ホコリや砂のつきやすい場所での使用、保存は避けてください。砂が本機やビデオカセット内部に入ると故障の原因となることがあります。また、レンズにホコリや砂がつくのを防止するため、使用後は必ずレンズキャップを付けてください。

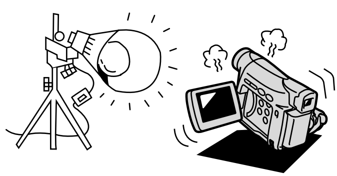


水や泥、塩分に注意する

本機は防水構造になっていません。水や泥、塩分などが本機やビデオカセット内部に入ると故障の原因となることがあります。

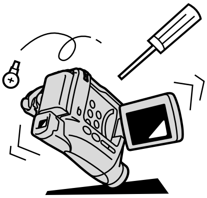
照明器具に注意する

照明器具を使うときは、器具から発生する熱に十分注意してください。



分解しない

分解して内部に触れないでください。正常に作動しないときは、キヤノンサービスセンターにご相談ください。



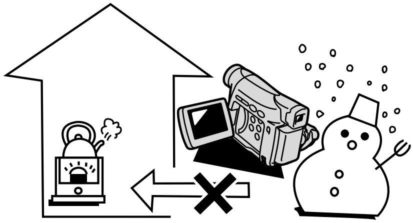
振動や衝撃を与えない

強い振動や衝撃は故障の原因になります。製品はていねいに取り扱ってください。



極端な温度差にさらさない

寒い場所で使った製品を急に暖かい室内に持ち込むと、製品内部に水滴（結露）が生じることがあります。温度差のある場所へ移動するときは、事前にカセットを本体から取り出してください。万一、結露が起きたときは、「結露について」（📖 99）の指示に従ってください。



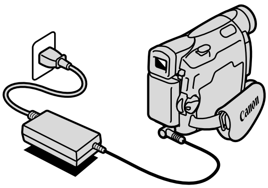
その他

バッテリーパックについて

このバッテリーパックは、リチウムイオン電池を使用しておりますので、充電する前に使い切ったり、放電する必要はありません。いつでも充電できます。

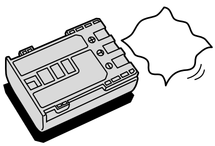
必ず充電してから使う

バッテリーパックは、出荷時に少し充電してありますので、ビデオカメラなどの動作確認ができます。長時間使用する場合や、動作確認ができない場合には、バッテリーを充電してから、お使いください。



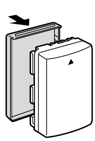
端子はいつもきれいにしておく

バッテリーパック、充電器、ビデオカメラの⊕、⊖などの端子は常にきれいにしておいてください。使わないときは、ショート端子用カバーを取り付けてください。また、接触不良、ショート、破損の原因となりますので、端子の間に物が入り込まないようにしてください。

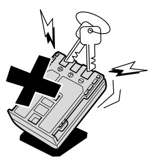


持ち運びや保存の際は、必ず付属のショート防止用端子カバーを取り付ける（図A）

キーホルダーなどの金属で⊕と⊖の端子をショートさせると（図B）、バッテリーパックの破損の原因となることがあります。



（図A）



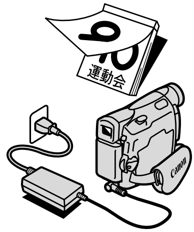
（図B）

充電は使用直前にする

充電しておいたバッテリーパックも内部の化学変化によって、少しずつ自然に放電してしまいます。使用する当日または前日に充電することをおすすめします。

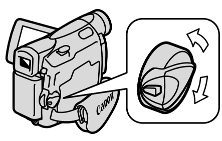
充電完了まで充電した状態で保管するとバッテリーパックの寿命を縮めたり、性能の低下の原因となることがあります。

長い時間ビデオカメラを使用しないときは、画面に「バッテリーパックを取りかえてください」が出るまでバッテリーパックを使ってから、取りはずして保管することをおすすめします。



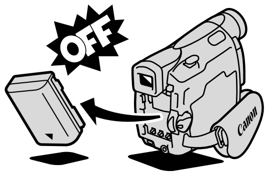
こまめに電源を切って使う

- 撮影中はもちろん、撮影一時停止中でもバッテリーパックは消耗します。電源スイッチでこまめに電源を切ることが、使用時間を長くさせるコツです。
- バッテリーパックは0℃～40℃の範囲で使用できますが、性能を十分に発揮させるためには10℃～30℃で使用することをおすすめします。スキー場などでは、バッテリーパックの性能が一時的に低下し、使用時間が短くなります。ポケットなどに入れて温めてから使用すると効果的です。



使用しないときは、ビデオカメラから取りはずす

ビデオカメラにバッテリーパックを取り付けたままにしておくと、電源が切れていても少しずつバッテリーを消耗します。長い間ビデオカメラを使用しないときは、必ずバッテリーパックを取りはずして、湿度の低い、室温30℃以下の場所で保管してください。



充電したのに、バッテリーパックの使用時間が極端に短いときは

常温で使用している場合は、寿命と考えられます。新しいバッテリーパックをお求めください。

バッテリーパックを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、次のことをおすすめします

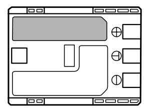
- 湿度の低い室温で保管する。
- 1年に1回程度、充電完了まで充電してから、ビデオカメラに取り付け、画面に「バッテリーを取りかえてください」が出るまでバッテリーパックを使う。複数のバッテリーパックをお持ちの場合、同時期に行う。

ショート防止用端子カバーについて

ショート防止用端子カバーには、「 」の穴があります。バッテリーパックに端子カバーを取り付けるときに「 」の位置を変えることで、充電済みのバッテリーパックを見分けるのに便利です。

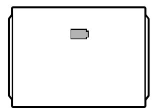
例：充電したバッテリーパックの場合は、端子カバーをラベルの青が見えるように取り付ける

バッテリーパックの裏面

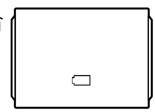


端子カバーの取り付け後

充電した場合



充電していない場合



- この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
- リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
- リチウムイオン電池の回収・リサイクルについては、下記のキヤノンホームページで確認できます。
  キヤノン サポートページ　　http://canon.jp/support
- 交換後不要になった電池は、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るか、個別にポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
- リサイクル協力店のお問い合わせは、以下へお願いします。
  - ビデオカメラ、リチウムイオン電池をご購入いただいた販売店
  - (社)電池工業会　小形二次電池再資源化推進センター及び充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局*

  * (社)電池工業会　電話番号 03-3434-0261

Li-ion

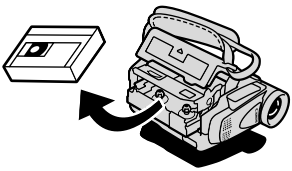
ビデオカセットについて

カセットは使用後、必ず巻戻す

テープがたるんで傷み、テープに記録した映像や音声が劣化する原因となります。

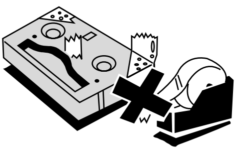
カセットはケースに入れて、立てて保管する

カセットを本体に入れたまま放置しない



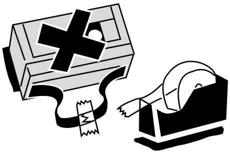
セロハンテープなどで、テープの穴をふさがない

カセットの裏面には、テープの種類などを検出する各種の穴があります。



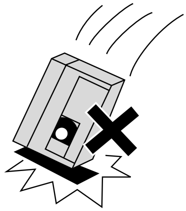
テープをつなぎ合わせたカセットや規格外のカセットは使用しない

故障の原因となります。



カセットを落としたり、ぶつけたりして過度な衝撃を与えない

内部のテープがたるみ、故障の原因となります。



カセットを長期間保管するときは、時々巻き直す

傷のついたテープは使用しない

ヘッド汚れの原因となります。

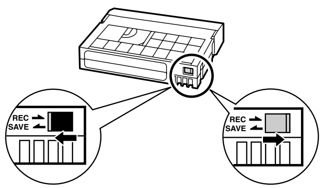
金メッキ端子付きのカセットの場合は、カセットを十数回出し入れしたら、綿棒で金メッキ端子をきれいにする

本機は、カセットメモリー付きカセットのカセットメモリー機能には対応していません。

間違って消さないために

大切な映像を録画したカセットを誤って消去しないようにするには、カセットの背にある誤消去防止ツマミをSAVEにしてください。誤消去防止ツマミをRECに戻せば、再び録画できます。

・ カメラモードのときに、録画できない状態のカセットを本体に入れると、画面に「カセットの誤消去防止ツマミを確認してください」が4秒間点灯し、その後「」が赤く点滅します。



SAVE (録画できない)　　REC (録画できる)

コイン型リチウム電池について

プラス（＋）とマイナス（－）を確認して、正しく入れる

接触不良を防ぐため、電池を乾いた布で拭いてから入れる

金属のピンセットなどでつかまない

ショートします。

分解や加熱をしたり、水の中に入れたりしない

破裂する恐れがあります。また、捨てるときは、燃えないゴミとして、適宜処理してください（地域によって異なります）。

ビデオヘッドをクリーニングする

テレビ番組はきれいに写るのに、ビデオでテープを再生すると画面がおかしくなったり、画像全体が青くなったりすることがあります。これは、ビデオヘッドの汚れが原因です。きれいな画像を撮影したり見たりするために、市販の乾式のヘッドクリーニングカセットを使って、こまめにビデオヘッドをきれいにしてください。

正常な画像



ビデオヘッドが汚れているときの画像



ヘッドクリーニングするときは

❍ 湿式のクリーニングカセットは使用しないでください。故障の原因となることがあります。

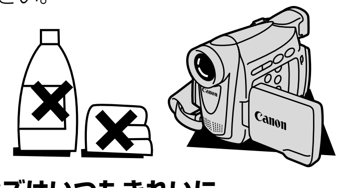
❍ ヘッドが汚れた状態で録画したテープは、ヘッドクリーニング後にも正常に再生できない場合があります。

日常のお手入れ／保管上のご注意

大切なビデオカメラやビデオカセットをより長くお使いいただくために、日常のお手入れや保管方法には十分注意してください。

お手入れ

製品の汚れは乾いたやわらかい布で軽くふいてください。化学ぞうきんやシンナーなどの使用は、製品を傷めることがあるのでおやめください。



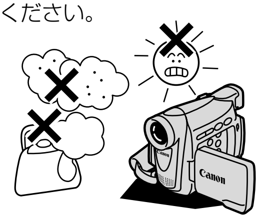
レンズはいつもきれいに

レンズの表面にホコリや汚れが付いていると、自動ピント合わせがうまく動作しないことがあります。レンズを常にきれいに保つようにしてください。最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを取り除き、それから汚れをふき取るようにしてください。



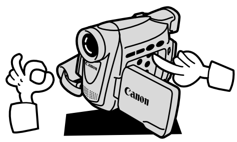
長期間使わないときは

製品を長期間ご使用にならない場合は、ホコリが少なく、湿度の低い、30℃以下の場所に保管してください。



各部のチェック

長期間使わなかった後のご使用や、重要な撮影の前には、各部の動作をチェックしてください。



ファインダーが汚れたときは

ブロアーでファインダー表面のゴミ、ホコリを取り除き、市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。

液晶画面について

- 汚れたときは市販の眼鏡クリーナー（布製）などで拭いてください。
- 温度差の激しいところでは、液晶画面に水滴がつくことがあります。柔らかい乾いた布で拭いてください。
- 寒冷地などで本機が冷え切っている場合は、電源を入れた直後は液晶画面が通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると、通常の明るさになります。

こんなときは

故障かな？と思っても、修理に出す前にもう一度確認してください。
特にほかの機器と接続しているときは、ケーブルの接続も確認してください。点検しても直らないときは、ご購入の店、またはキヤノンサービスセンターにご相談ください。

	こんなときは	考えられる原因	どうするの？	参照ページ
電源	**電源が入らない。**	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	16
		バッテリーパックが正しく装着されていない。	バッテリーパックを正しく装着し直す。	16
	途中で電源が切れる。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	16
		撮影一時停止状態が5分以上続いた。	もう一度電源を入れる。	29
	グリップカバーを開いてもカセット入れが動かない。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	16
		グリップカバーが完全に開いていない。	止まるまで開く。	19
	カセット入れが動作中に止まって動かない。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	16
		本機が故障している。	サービスセンターにご相談ください。	巻末
	画面がついたり消えたりをくり返す。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	16
	バッテリーパックが充電できない。	温度が0℃～40℃以外では充電できません。	0℃～40℃の温度で充電する。	18
		バッテリーパック使用直後はバッテリーの温度が高く、充電温度範囲外の場合があります。	バッテリーパックをしばらく放置して、温度が40℃以下になってから、充電を開始してください。	18
		バッテリーパックが故障している。	別のバッテリーパックを使う。	18
撮影時・再生時	**操作ボタンを押しても動かない。**	電源が入っていない。	電源を入れる。	28 35
		カセットが入っていない。	カセットを入れる。	19
	画面で「」が点滅する。	カセットが入っていない。	カセットを入れる。	19
	画面で「」が点滅する。	バッテリーパックが消耗している。	十分に充電したバッテリーパックと交換する。	16
	画面で「」が点滅する。	ビデオカメラの内部に水滴が付いた。	結露の項目をご覧ください。	99
	画面で「カセットを取り出してください」が点滅する。	テープを保護する機能が働いている。	カセットを一度取り出して、入れ直す。	19

	こんなときは	考えられる原因	どうするの？	参照ページ
撮影時	**画面に映像が映らない。**	カメラモードになっていない。	カメラモードにする。	28
	「エリア／日時を設定してください」が表示される。	世界時計のエリアまたは日時が設定されていない。	世界時計のエリアと日時を設定する。	24
		コイン型リチウム電池が消耗している。	新しいコイン型リチウム電池CR1616と交換し、日付／時刻を設定し直す。	20
		コイン型リチウム電池を＋－逆に入れている。	コイン型リチウム電池の「＋」を手前にして入れ直す。	20
	スタート／ストップボタンを押しても、録画しない。	電源が入っていない。	カメラモードにする。	28
		カセットが入っていない。	カセットを入れる。	19
		テープが終わっている（画面で「 END」が点灯している）。	テープを巻き戻すか、新しいカセットを入れる。	19 35
		カセットが録画できない状態になっている（画面で「」が点滅する）。	カセットの誤消去防止ツマミを確認する。	92
		カメラモード以外になっている。	カメラモードにする。	28
	ピントが合わない。	ピントの自動調整が苦手な被写体である。	手動でピントを合わせる。	47
		ファインダーの視度が合っていない。	視度調整レバーで画像がはっきり見えるように調整する。	21
		レンズが汚れている。	最初にブロアーでレンズ表面のゴミ、ホコリを吹き除いた後で、レンズを傷付けないように、乾いた柔らかい布で軽く拭いて、汚れを取り除く（ティッシュペーパーは使わないでください）。	95
	音が歪んだり、実際より小さく記録される。	大きな音の近く（打ち上げ花火や太鼓、コンサートなど）で撮影すると、音が歪んだり、実際より小さく記録されることがあります。故障ではありません。	－	
	キラキラ光っていたり、極端に明るい被写体(一部に高輝度な部分がある被写体)を撮影すると、縦に帯が出る。	CCDのスミア現象で故障ではありません。	－	
	ファインダーの画像がはっきりしない。	視度調整レバーで調整していない。	視度調整レバーで調整する。	21

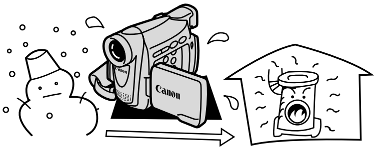
	こんなときは	考えられる原因	どうするの？	参照ページ
再生時	**再生ボタンを押しても再生しない。**	電源が入っていない、または再生（VTR）モード以外になっている。	再生（VTR）モードにする。	35
		カセットが入っていない。	カセットを入れる。	19
		テープが終わっている（画面で「 END」が点灯している）。	テープを巻き戻す。	35
	テレビに映像が出ない。	「AV→DV」が「入」になっている。	「AV→DV」を「切」にする。	76
	テープは回っているが、テレビに再生画像が出ない。	テレビのテレビ/ビデオ切換スイッチがビデオになっていない。	テレビ/ビデオ切換スイッチをビデオにする。	38
		ビデオヘッドが汚れている。	市販の乾式のヘッドクリーニングカセットでビデオヘッドをクリーニングする。	94
		コピー制限されたテープを再生またはダビング録画しようとしている。	再生またはダビング録画を中止してください。	86
	再生画像は出るが、内蔵スピーカーから音が出ない。	スピーカーの音量調整が「切」になっている。	SETボタンで調整する。	37
編集時	**本機のDV端子に入力しても録画できない。**	「AV→DV」が「入」になっている。	「AV→DV」を「切」にする。	76
		信号の方式が異なっている。	アナログ入力では録画できる場合があります。接続した機器の使用説明書をご覧ください。	

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音やノイズ、静電気などにより液晶画面／ファインダーに通常でない文字が出たり、正常に動作しないことがあります。このような場合は、電源およびコイン型リチウム電池をいったん取りはずし、しばらくしてから取り付け直して、操作してください。

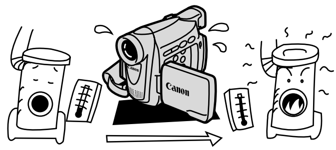
結露について

夏季、よく冷えたビールをコップに注ぐと、コップの表面に水滴がつくことがあります。この現象を結露といいます。ビデオカメラを結露した状態で使用すると故障の原因になりますので注意してください。

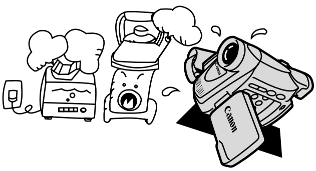
・ 寒い所から急に暖かい所に移動したとき



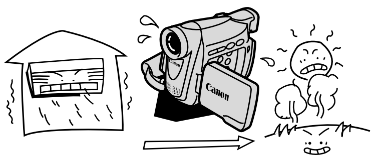
・ 寒い部屋を急に暖房したとき



・ 湿度の高い部屋の中

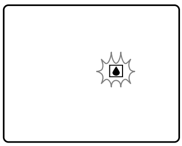


・ 夏季、冷房のきいた部屋から急に温度や湿度の高い所に移動したとき



結露したときは？

電源ランプが点滅して、本機は自動的に停止します。画面に「結露しています」が約4秒間表示され、「 」が点滅します。カセットが入っている場合は、「結露しています」のあとで、「カセットを取り出してください」が表示され、「 」が点滅します。



カセットが入っている場合は、すぐに取り出して、カセット入れを開いたまま乾燥した所に置いてください（結露したときは、電源スイッチとカセット取り出しスイッチのみ働きます）。カセットを中に入れたまま放置すると、テープを傷める可能性があります。また、結露したときは、カセットを本体に入れようとしても入りません。

結露を防ぐためには

温度差のある場所へ急に移動するときは、事前にカセットを取り出し、ビデオカメラをビニール袋に入れて密閉してから移動します。ビデオカメラが移動先の温度と同じになってから袋から取り出すと、結露を防ぐことができます。

使い始めるには

水滴が消えるまでの時間は、周囲の環境によって多少異なりますが、約1時間程度です。電源を入れて、画面の「 」や電源ランプが点滅しなくなっても、念のためさらに1時間くらい放置してください。

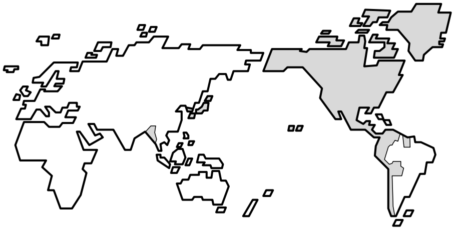
海外で使うとき

本製品は、海外でもお使いになれますが、次のことにご注意ください。

テレビでの再生

録画したビデオカセットを現地のテレビでご覧になる場合、日本国内で採用しているNTSC方式（カラー受信方式の1つ）で、映像/音声入力端子のついたテレビが必要になります。

NTSC方式は以下の国／地域で採用されています。
日本放送出版協会発行「世界のラジオとテレビジョン1988」による



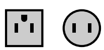
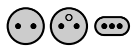
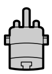
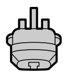
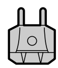
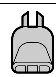
- ●アメリカ合衆国
- ●エクアドル
- ●カナダ
- ●キューバ
- ●グアム
- ●大韓民国
- ●チリ
- ●ドミニカ
- ●トリニダード・トバゴ
- ●ニカラグア
- ●バミューダ
- ●プエルトルコ
- ●ベネズエラ
- ●ペルー
- ●米領サモア
- ●ボリビア
- ●グァテマラ
- ●グリーンランド
- ●コスタリカ
- ●コロンビア
- ●スリナム
- ●セントルシア
- ●ハイチ
- ●パナマ
- ●バハマ
- ●バラバドス
- ●ミャンマー
- ●フィリピン
- ●ホンジュラス
- ●ミクロネシア
- ●メキシコ
- ●台湾

電源について

コンパクトパワーアダプターCA-570は、AC100～240V 50/60Hzまでの電源に接続できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、変換プラグアダプターが必要になります（1つの国／地域の中でも地域によってコンセントの形状が異なる場合があります）。
コンパクトパワーアダプターCA-570を海外旅行者用の電子式変圧器などに接続すると、故障のおそれがありますので、使用しないでください。

変換アダプターについては、旅行代理店などで確認の上、あらかじめご用意ください。

海外の電源コンセントの種類

タイプ	A	B	BF	C	S
コンセントの形状					
変換プラグ	不要です				

主な国名と使用するプラグの種類（参考資料）

●北米	
アメリカ合衆国	A
カナダ	A

●ヨーロッパ	
アイスランド	C
アイルランド	C
イギリス	B. BF
イタリア	C
オーストリア	C
オランダ	C
ギリシャ	C
スイス	C
スウェーデン	C
スペイン	A. C
デンマーク	C
ドイツ	C
ノルウェー	C
ハンガリー	C
フィンランド	C
フランス	C
ベルギー	C
ポーランド	B. C
ポルトガル	B. C
ルーマニア	C

●アジア	
インド	B. C. BF
インドネシア	C
シンガポール	B. BF
スリランカ	B. C. BF
タイ	A. BF. C
大韓民国	A. C
中華人民共和国	A. B. BF. C. S
ネパール	C
パキスタン	B. C
バングラデシュ	C
フィリピン	A. BF. S
ベトナム	A. C
香港特別行政区	B. BF
マカオ特別行政区	B. C
マレーシア	B. BF. C

●オセアニア	
オーストラリア	S
グアム	A
タヒチ	C
トンガ	S
ニュージーランド	S
フィジー	S

●中南米	
アルゼンチン	BF. C. S
コロンビア	A
ジャマイカ	A
チリ	B. C
ハイチ	A
パナマ	A
バハマ	A
プエルトリコ	A
ブラジル	A. C
ベネズエラ	A
ペルー	A. C
メキシコ	A

●中近東	
イスラエル	C
イラン	C
クウェート	B. C
ヨルダン	B. BF

●アフリカ	
アルジェリア	A. B.BF. C
エジプト	B. BF. C
カナリア諸島	C
ギニア	C
ケニア	B. C
ザンビア	B. BF
タンザニア	B. BF
南アフリカ共和国	B. C. BF
モザンビーク	C
モロッコ	C

保証書とアフターサービス

本機の保証は日本国内を対象としています。万一海外で故障した場合の現地でのアフターサービスはご容赦ください。

保証書

本体には保証書が添付されています。必要事項が記入されていることをお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

製品の保証について

1 本製品が万一故障したときは、本製品と保証書をご持参のうえ、ご購入いただいた販売店またはキヤノンサービスセンターにご相談ください。

2 保証期間内でも保証の対象にならない場合もあります。詳しくは保証書に記載されている保証内容のご案内をご覧ください。
保証期間はご購入日より1年間です。

3 保証期間経過後の修理は原則として有料となります。なお、運賃等の諸経費は保証期間内でもお客様にご負担いただくことがあります。

4 本製品などの不具合により録画されなかった場合の付随的損害（録画、録音に要した諸費用および得べき利益の損失など）については、保証致しかねます。

修理を依頼されるときは

5 修理品をご持参いただくときは、不具合の見本となるビデオカセットを添付するなどしたうえ、不具合の内容／修理箇所を明確にご指示ください。

補修用性能部品について

6 ビデオカメラ補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造の打ち切り後8年です。従って期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、故障の原因や内容によっては、期間中でも修理が困難な場合と、期間後でも修理が可能な場合がありますので、その判断につきましてはご購入店、またはキヤノンサービスセンターにお問い合わせください。

修理料金について

7 修理料金は故障した製品を正常に修復するための技術料と修理に使用する部品代との合計金額からなります。

修理見積につきましては、窓口で現品を拝見させていただいてから概算をお知らせいたします。なお、お電話での修理見積依頼につきましては、おおよその仮見積になりますので、その旨ご承知おきください。

主な仕様

FV500

システム

録画方式	回転2ヘッドヘリカルスキャン DV方式（民生用デジタルVCR SD方式）
映像記録方式	デジタルコンポーネント記録
音声記録方式	PCMデジタル記録　16bit (48kHz/2ch) 12bit (32kHz/4ch)
信号方式	NTSC方式準拠
使用可能ビデオカセット	Mini DVのついたミニDVカセット
テープ速度	約18.81mm/秒（SPモード時） 約12.56mm/秒（LPモード時）
録画/再生時間	80分（80分テープ使用時/SPモード時） 120分（80分テープ使用時/LPモード時）
早送り/巻戻し時間	約2分20秒（60分テープ使用時）
撮像素子	1/6型CCD、総画素数68万画素 有効画素約34万画素
液晶画面	2.4型TFTカラー液晶（約11.2万画素）
ファインダー	0.33型　TFTカラー液晶（約11.3万画素）
マイク	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク
レンズ	f=2.8～56mm　F=1.6～3.2　電動20倍ズーム 35mmフィルム換算時の焦点距離 4:3撮影時：53.5～1070mm 16:9撮影時：44.2～884mm
レンズ構成	8群11枚
フィルター径	28mm
焦点調整	TTL自動焦点、マニュアル調整可
最短撮影距離	ワイド端1cm、ズーム全域1m
色温度切り換え	フルオート（セット、屋内、屋外付）
最低被写体照度	2ルクス（ナイトモード時）
推奨被写体照度	100ルクス以上
手ぶれ補正機能	電子式

入・出力端子（レベル／インピーダンス）

映像/音声端子	φ3.5mm　4極ミニジャック、1Vp-p/75Ω 出力時：-10dBV (47kΩ負荷時)/3ｋΩ以下 入力時：-10dBV /40kΩ以上
DV端子	マルチコネクター、IEEE1394準拠

電源その他

電源電圧	DC7.4V
消費電力	ファインダー使用時：約2.3W（録画中、AF合焦時） 液晶画面使用時：約3.1W（録画中、AF合焦時、明るさ標準）
動作温度	0℃～+40℃
外形寸法	51×93×130mm （幅×高さ×奥行き）（突起部を含まず）
撮影時総質量	約490g （バッテリーパックNB-2LH、レンズキャップ、コイン型リチウム電池、ビデオカセット30分用含む）
本体質量	約430g

コンパクトパワーアダプター　CA-570

電源	AC 100V-240V、50/60Hz
出力／消費電力	公称DC8.4V、1.5A/29VA（100V)～39VA（240V）
使用温度	0℃～+40℃
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約52×29×90mm
本体質量	約135g

バッテリーパック　NB-2LH

使用電池	リチウムイオン
使用温度	0℃～+40℃
公称電圧	DC7.4V
容量	720mAh
外形寸法（幅×高さ×奥行き）	約33.3×16.2×45.2mm
質量	約43g

※仕様および外観は予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

索引

MEMO

修理サービスご相談窓口

故障などについてご相談になるときは、下記の項目をお知らせください。

型名：FV500

故障の状態：できるだけ詳しく

ご購入年月日：

サービスセンター（修理サービスご相談窓口）

札　幌	〒060-8522	札幌市北区北七条西1ー1ー2　SE山京ビル1F	011(728)0665
仙　台	〒980-8560	仙台市青葉区国分町3ー6ー1　仙台パークビル1F	022(217)3210
大　宮	〒330-0854	さいたま市大宮区桜木町1ー10ー17　シーノ大宮サウスウイング6F	048(649)1450
銀　座	〒104-0061	東京都中央区銀座5ー9ー9	03(3573)7834
新　宿	〒163-0401	東京都新宿区西新宿2ー1ー1　三井ビル1F	03(3348)4725
横　浜	〒220-0004	横浜市西区北幸2ー6ー26　HI横浜ビル2F	045(312)0211
名古屋	〒461-8511	名古屋市東区東桜2ー2ー1　高岳パークビル1F	052(939)1830
梅　田	〒530-8260	大阪市北区梅田3ー3ー10　梅田ダイビルB1	06(4795)9100
広　島	〒730-0051	広島市中区大手町3ー7ー5　広島パークビル1F	082(240)6712
高　松	〒760-0027	高松市紺屋町4ー10　鹿島紺屋町ビル1F	087(823)4681
福　岡	〒812-0017	福岡市博多区美野島1ー2ー1　キヤノン販売福岡ビル1F	092(411)4173

東日本修理センター

	〒261-8711	千葉市美浜区中瀬1ー7ー2　キヤノン販売幕張ビル1F	043(211)9032

西日本修理センター

	〒540-0003	大阪市中央区森ノ宮中央2ー5ー3	06(6941)1076

● 休業のご案内

新宿、梅田（日曜日、祝祭日）

その他（土・日曜日、祝祭日）

●営業時間のご案内

銀座、新宿、梅田：10:00 ～ 18:00

その他：9:00 ～ 17:30

● 所在地、電話番号が変更になる場合がございますのであらかじめご了承ください。（2005年1月1日現在）

Canon

キヤノン株式会社

キヤノン販売株式会社

〒108-8011　東京都港区港南2-16-6

（2005年1月1日現在）

製品の取り扱い方法に関するご相談窓口

製品名	お問い合わせ
FV500	**キヤノン販売　お客様相談センター** **（全国共通番号）050-555-90003** 受付時間：平日 9:00～20:00　土・日・祝日 10:00～17:00 （1月1日～1月3日を除く） ※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9394をご利用ください。 ※上記番号はIP電話プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。

キヤノンデジタルビデオカメラホームページのご案内

キヤノンデジタルビデオカメラのホームページを開設しています。最新の情報が掲載されておりますので、インターネットをご利用の方は、ぜひお立ち寄りください。

デジタルビデオカメラ製品情報	http://canon.jp/dv
キヤノン サポートページ	http://canon.jp/support

保証書別添付　保証書は必ず「購入店・購入日」等の記入を確かめて、購入店よりお受け取りください。

Li-ion

リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください。

この使用説明書は100%再生紙を使用しています。

PUB. DIJ-186
0000A/Ni0.0

DY8-9010-135-000

PRINTED IN JAPAN